

# 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査 武蔵野市介護施設等における入退所調査

(武蔵野市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画、  
武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画策定に係る調査)

## 報告書

令和5年3月  
武蔵野市



# 目次

---

<b>第1章</b>	調査実施概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査対象	1
3.	調査方法	3
4.	調査期間	3
5.	回収状況	3
6.	報告書の記載に関する注意点	3
<b>第2章</b>	調査結果の概要	4
<b>第3章</b>	武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査結果	13
1.	事業所の属性	13
2.	介護職員の確保に向けて実施している取組み	17
3.	回答者の属性	22
4.	地域包括ケア人材育成センターについて	35
5.	約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向	37
6.	外国人介護職員の受け入れに対する考え	40
7.	武蔵野市で働き続けるために市に求めること	41
8.	1週間の訪問サービスにおける提供時間	43
<b>第4章</b>	武蔵野市介護施設等における入退所調査結果	45
1.	施設等の概要	45
2.	医療処置を受けている人数	48
3.	過去2年間の入所・入居者数	49
4.	過去2年間の退所・退居者数	51
5.	過去2年間の入所・入居及び退所・退居の流れ	54
6.	入居・入所者の退去理由	57
<b>資料</b>	使用した調査票	59



# 第1章 調査実施概要

## 1. 調査の目的

武蔵野市（以下「市」という。）では、令和5年度に高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画、障害者計画・第7期障害福祉計画の策定を予定している。計画策定に備え、今後の市における人材の確保・育成や、高齢者や障害のある方が暮らし慣れた住まいで最後まで生活を継続する上で必要な機能に係る具体的な方策等を、各計画に盛り込むための基礎データを得るために調査を実施した。

## 2. 調査対象

### ○武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査

#### 事業所票

市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所の施設長・管理者、及び市民を受け入れている市外の特別養護老人ホームの施設長を対象とした。

#### 職員票

市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所、及び市民を受け入れている市外の特別養護老人ホームに所属する全ての介護職員、看護職員、リハビリテーション職員等（以下、介護職員・看護職員等）を対象とした。

### ○武蔵野市介護施設等における入退所調査（入退所票）

市内で介護サービスを提供している施設・事業所の施設長・管理者、及び市民を受け入れている市外の特別養護老人ホームの施設長を対象とした。

なお、事業所におけるサービスの種類について、より傾向を把握しやすくすることを目的として、以下のように分類を行った。

サービスの種類	介護保険法に定められたサービス				障害者（児）を対象としたサービス				その他のサービス
	訪問系	通所系	施設・居住系	看多機	訪問系	通所系	施設・居住系	児童系	住宅系
訪問介護	○								
訪問型サービス（総合事業）	○								
訪問入浴介護	○								
訪問リハビリテーション	○								
訪問看護（介護保険）	○								
通所介護		○							
通所型サービス（総合事業）		○							
地域密着型通所介護		○							
通所リハビリテーション		○							
短期入所生活介護			○						
短期入所療養介護			○						
特定施設入居者生活介護			○						
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	○								
夜間対応型訪問介護	○								
看護小規模多機能型居宅介護				○					
認知症対応型通所介護		○							
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）			○						
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）			○						
介護老人保健施設			○						
介護療養型医療施設			○						
居宅介護、重度訪問介護					○				
同行援護					○				
行動援護					○				
移動支援					○				
訪問看護（障害者（児））					○				
生活介護						○			
短期入所									
共同生活援助							○		
施設入所支援							○		
就労移行支援						○			
就労継続支援A型						○			
就労継続支援B型						○			
児童発達支援、放課後等デイサービス								○	
日中一時支援								○	
サービス付き高齢者向け住宅									○
住宅型有料老人ホーム									○
軽費老人ホーム（ケアハウス）									○

### 3. 調査方法

郵送配付・郵送回収とした。

介護サービス及び障害福祉サービスの施設・事業所に事業所票、職員票、入退所票を送付し、各事業所にて、事業所票及び入退所票は施設長・管理者に、職員票は介護職員・看護職員等に配付した。

施設長・管理者が記入した事業所票及び入退所票、各職員が記入した職員票を施設・事業所単位で取りまとめ、市に返送した。

### 4. 調査期間

令和4年11月28日から令和5年1月20日まで

### 5. 回収状況

調査名	事業所票		職員票
	対象事業所数	回収数（回収率）	回収数
武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査	225	169（75.1%）	1,743
武蔵野市介護施設等における入退所調査	38	30（78.9%）	—

### 6. 報告書の記載に関する注意点

- 1 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- 2 調査結果の比率は、その設問の回答者数を奇数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100.0%にならない場合がある。
- 3 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- 4 図表中「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または判別が困難なものである。
- 5 語句が長い選択肢については、本文及びグラフ中では省略した表現を用いている場合がある。
- 6 クロス集計において、軸になる設問の「無回答」の数値は掲載していない。

## 第2章 調査結果の概要

### 1 調査の実施概要

- ◇ 調査目的： 武蔵野市（以下「市」という。）では、令和5年度に高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画、障害者計画・第7期障害福祉計画の策定を予定している。計画策定に備え、今後の市における人材の確保・育成や、高齢者や障害のある方が暮らし慣れた住まいで最後まで生活を継続する上で必要な機能に係る具体的な方策等を、各計画に盛り込むための基礎データを得るために調査を実施。
- ◇ 調査対象者： **【武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査】**
  - 事業所票：市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所の施設長・管理者、及び市民を受け入れている市外の特別養護老人ホームの施設長
  - 職員票：市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所、及び市民を受け入れている市外の特別養護老人ホームに所属する全ての介護職員、看護職員、リハビリテーション職員等**【武蔵野市介護施設等における入退所調査】**
  - 市内で介護サービスを提供している施設・事業所の施設長・管理者、及び市民を受け入れている市外の特別養護老人ホームの施設長
- ◇ 調査期間： 令和4年11月28日から令和5年1月20日まで
- ◇ 調査方法： 郵送配付・郵送回収。介護サービス及び障害福祉サービスの施設、事業所に事業票、職員票を送付し、各事業所にて、事業所票は施設長・管理者に、職員票は介護職員・看護職員等に配付。事業所票、各職員が記入した職員票は施設・事業所単位で取りまとめ、市に返送。
- ◇ 回収状況： **【武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査】**
  - 事業所票：169件 ○職員票：1,743人**【武蔵野市介護施設等における入退所調査】**
  - 入退所票：30件

### <参考：令和元年度「武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査」の実施概要>

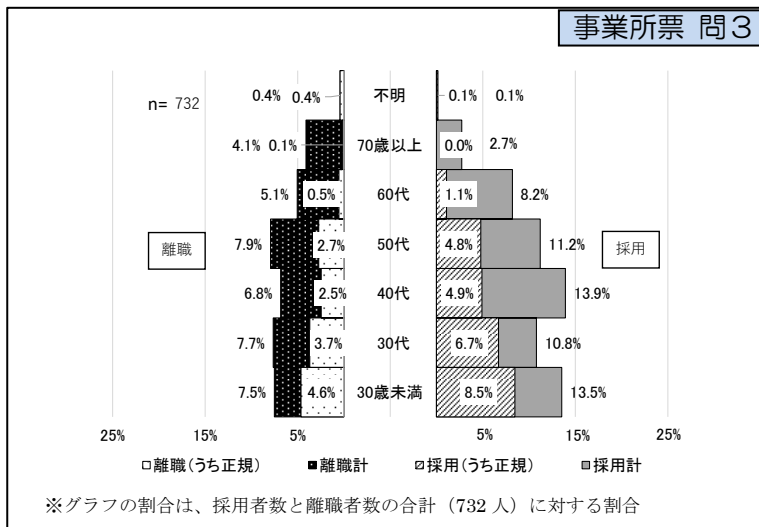
- 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査の結果については、今年度実施された調査（以下「令和4年度」という。）の結果と比較するため、令和元年11月に実施された「武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査」（以下「令和元年度」という）の結果も表示している。
- ◇ 調査対象者： **【武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査】**
    - 事業所票：市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所の施設長・管理者、及び市民を受け入れている市外の特別養護老人ホームの施設長
    - 職員票：市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所、及び市民を受け入れている市外の特別養護老人ホームに所属する全ての介護職員、看護職員、リハビリテーション職員等**【武蔵野市介護施設等における入退所調査】**
    - 市内で介護サービスを提供している施設・事業所の施設長・管理者、及び市民を受け入れている市外の特別養護老人ホームの施設長
  - ◇ 調査期間： 令和元年11月19日から令和2年1月6日まで
  - ◇ 調査方法： 郵送配付・郵送回収
  - ◇ 回収状況： **【武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査】**
    - 事業所票：155件 ○職員票：1,693人**【武蔵野市介護施設等における入退所調査】**
    - 入退所票：29件



## 2 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査（事業所票）調査結果の概要

### (1) 回答事業所の属性

《図1 過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数》(数値回答)



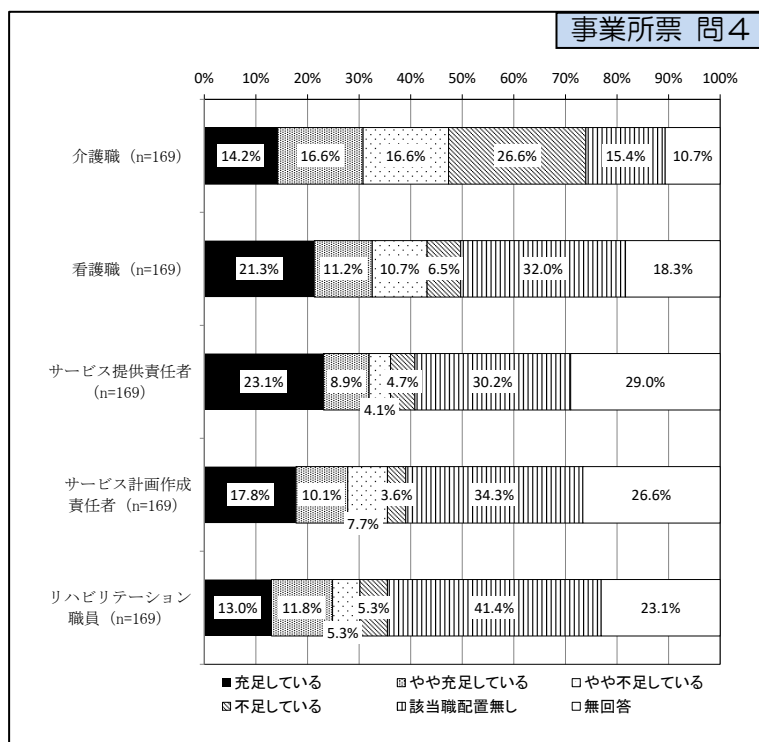
・回答事業所全体の過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数をみると、「採用者」は443人、離職者は289人、「増減数（採用者数 - 離職者数）」は154人となっている。

・「70歳以上」と「不明」を除いた全ての年代で、採用者数が離職者数を上回っている。

※開設から1年以上経過している事業所のうち、回答のあった156事業所

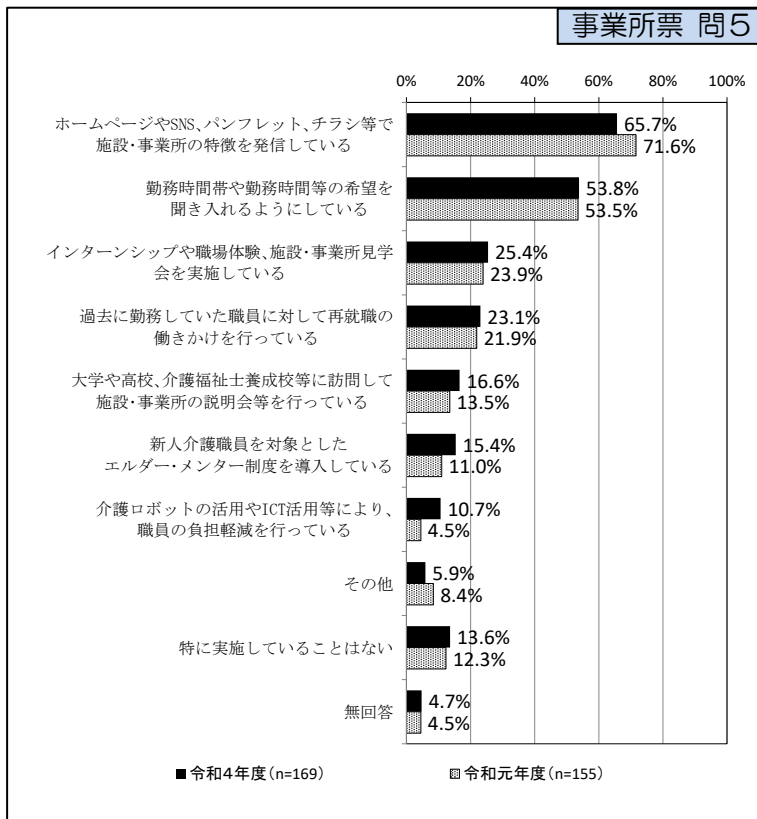
### (2) 施設・事業所の取組みや考え

《図2 職員の充足感》(単数回答)



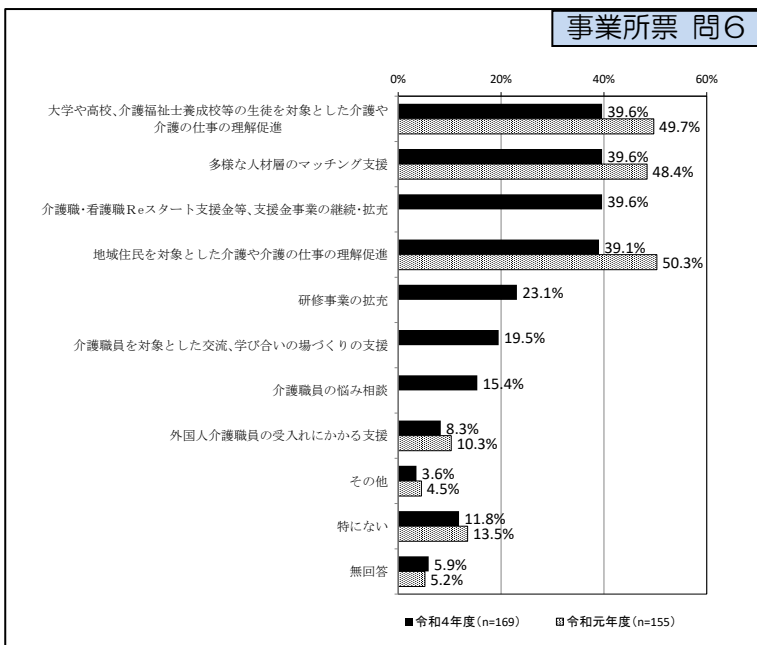
・職員の充足感については、介護職における「不足している」の割合が26.6%となっている。

《図3 介護職員の確保に向けて実施している取組み》(複数回答)



・介護職員の確保に向けて実施している取組みについては、「ホームページやSNS、パンフレット、チラシ等で施設・事業所の特徴を発信している」が65.7%、「勤務時間帯や勤務時間等の希望を聞き入れるようにしている」が53.8%となっている。

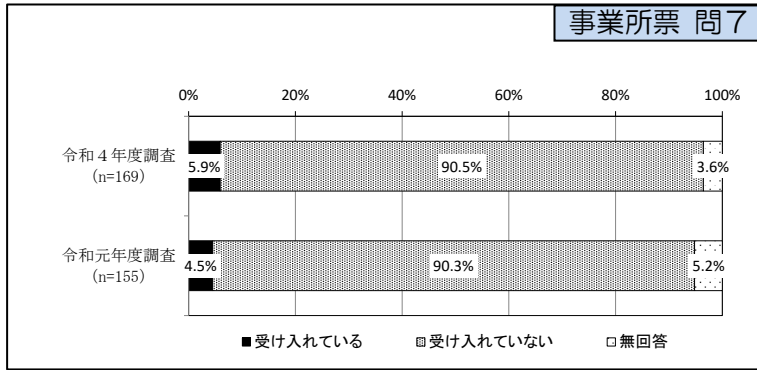
《図4 介護職員の確保に関して市に求める支援》(複数回答)



・介護職員の確保に関して市に求める支援は、「大学や高校、介護福祉士養成校等の生徒を対象とした介護や介護の仕事の理解促進」、「多様な人材層のマッチング支援」、「介護職・看護職Reスタート支援金等、支援金事業の継続・拡充」がそれぞれ39.6%となっている。

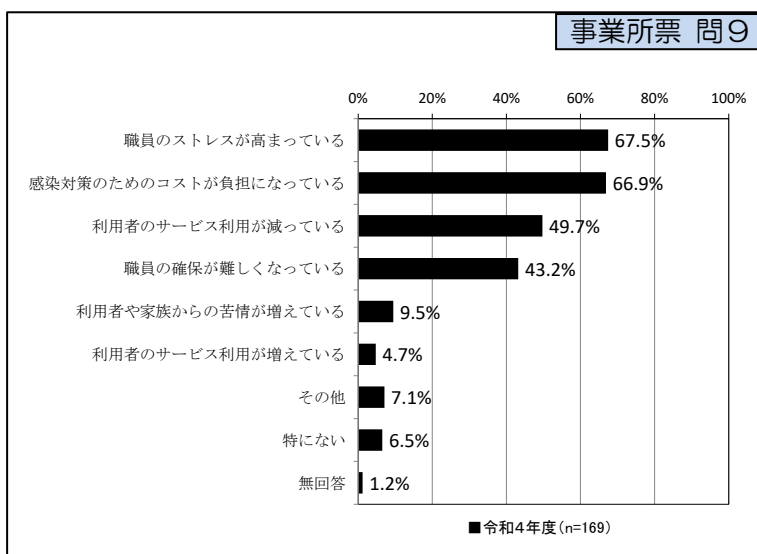
(注) 令和4年度調査では「介護職・看護職Reスタート支援金等、支援金事業の継続・拡充」、「研修事業の拡充」、「介護職員を対象とした交流、学び合いの場づくりの支援」、「介護職員の悩み相談」の選択肢を設けた。

《図5 外国人介護職員の受入れ状況》(単数回答)



・外国人介護職員を受け入れている施設・事業所は、5.9%となっている。

《図6 コロナ禍において業務に影響が生じていること》(複数回答)

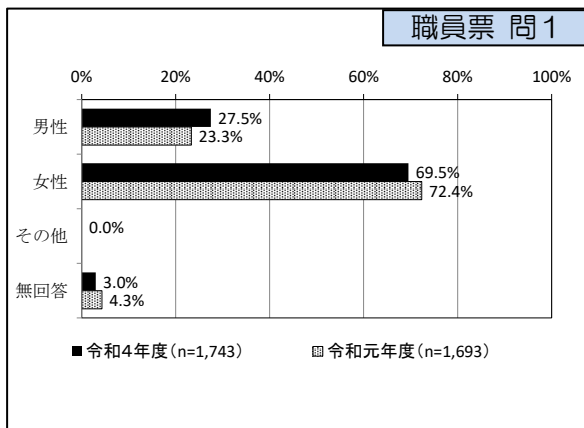


・コロナ禍において業務に影響が生じていることは、「職員のストレスが高まっている」が67.5%、「感染対策のためのコストが負担になっている」が66.9%となっている。

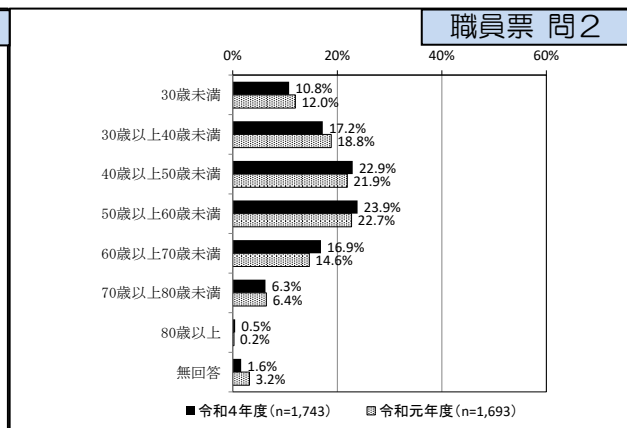
### 3 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査(職員票)調査結果の概要

#### (1) 回答者の属性

《図7 性別》(単数回答)

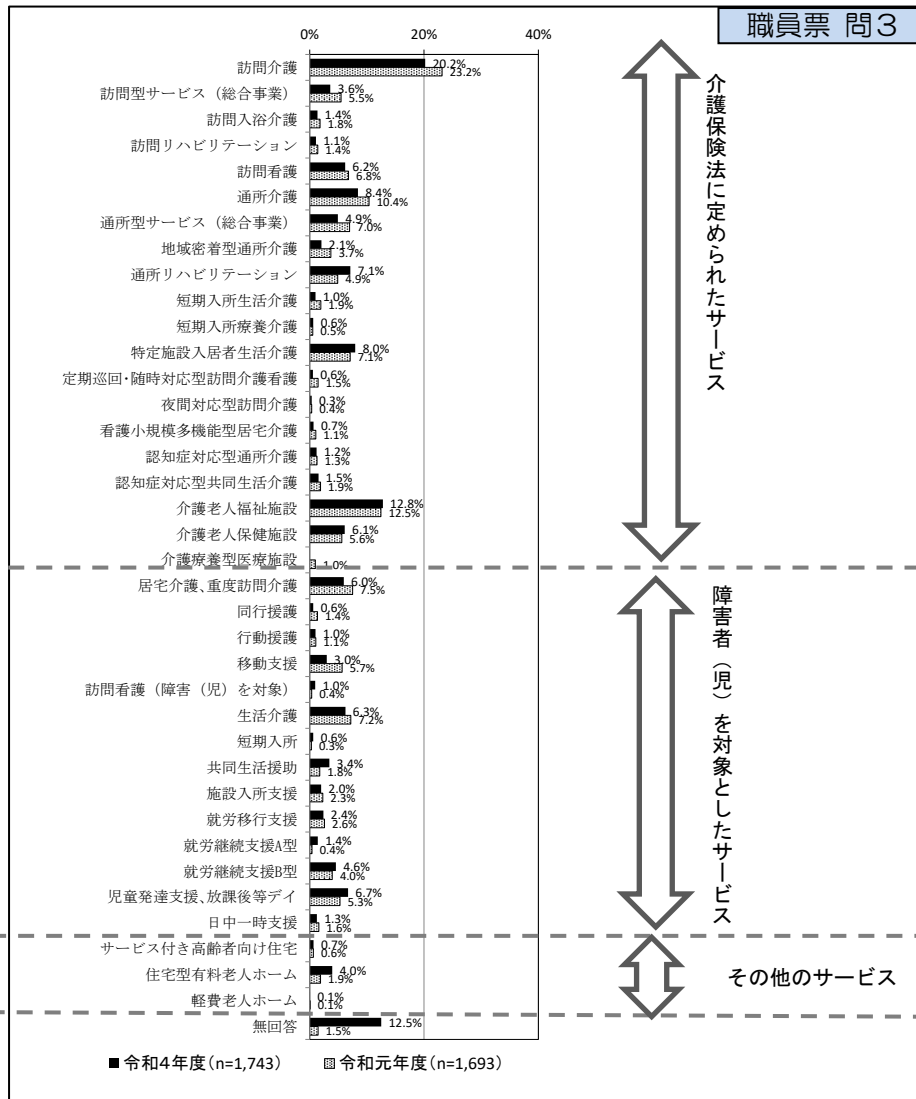


《図8 年齢》(単数回答)



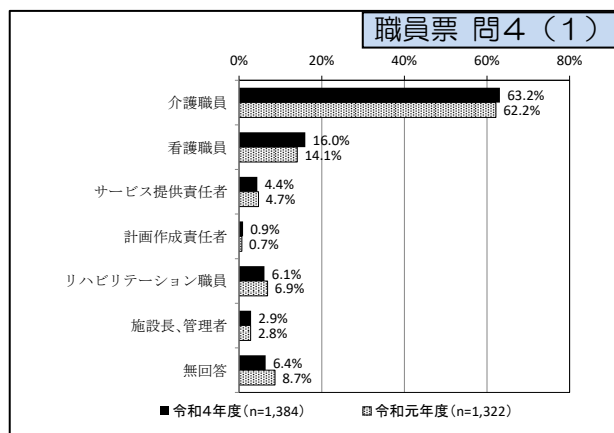
- ・性別は「男性」が27.5%、「女性」が69.5%だった。
- ・年齢は「50歳以上60歳未満」が23.9%、「40歳以上50歳未満」が22.9%となっている。

《図9 所属》(複数回答)

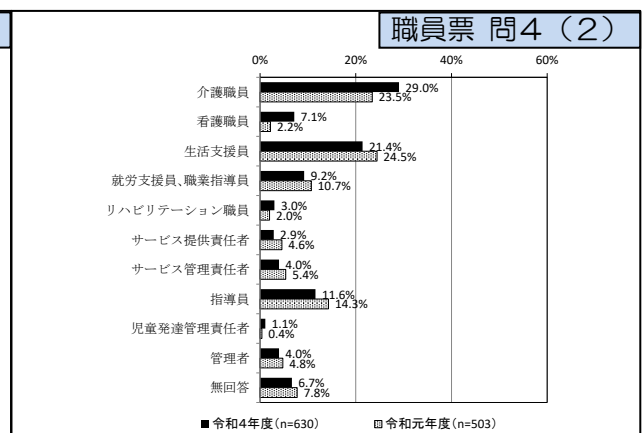


・介護保険法に定められたサービスでは、「訪問介護」が20.2%、「介護老人福祉施設」が12.8%だった。また、障害者(児)を対象としたサービスでは、「児童発達支援、放課後等デイ」が6.7%、「生活介護」が6.3%となっている。

《図10 主な職種(介護)》(単数回答)

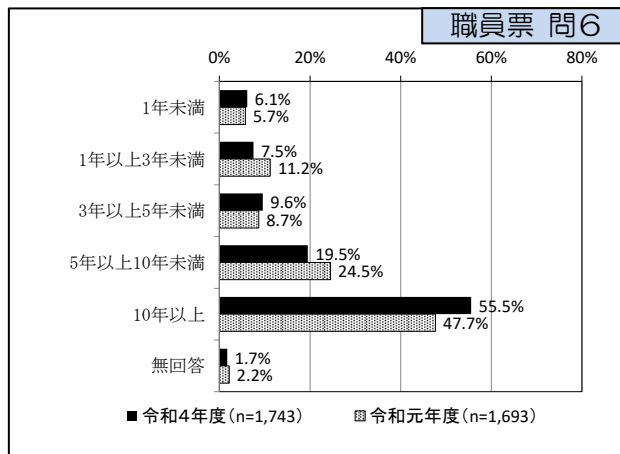


《図11 主な職種(障害)》(単数回答)

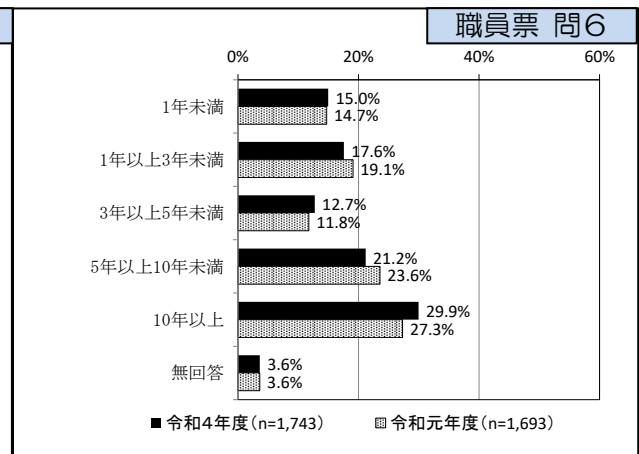


・介護保険法に定められたサービスにおける主な職種は、「介護職員」が63.2%だった。  
 ・障害者(児)を対象としたサービスにおける主な職種は、「介護職員」が29.0%となっている。

《図 12 経験年数》(数値回答)



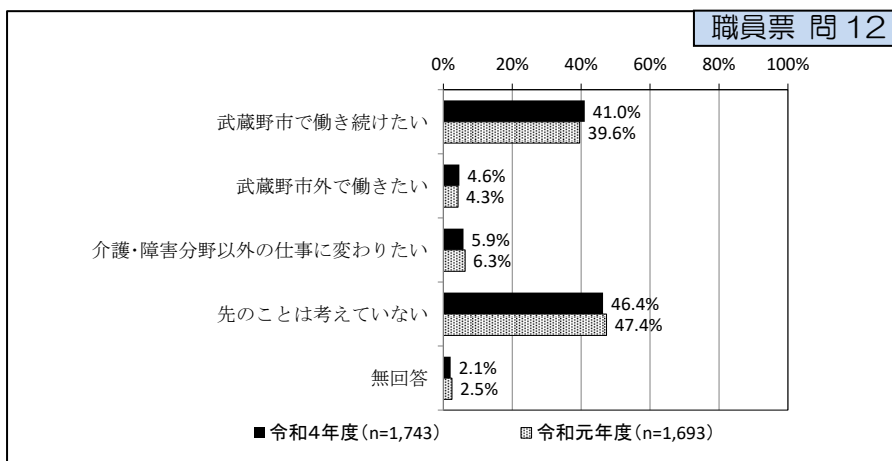
《図 13 市内での経験年数》(数値回答)



- ・経験年数は「10年以上」が55.5%、「5年以上10年未満」が19.5%だった。
- ・市内での経験は「10年以上」が29.9%、「5年以上10年未満」が21.2%となっている。

(2) 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向

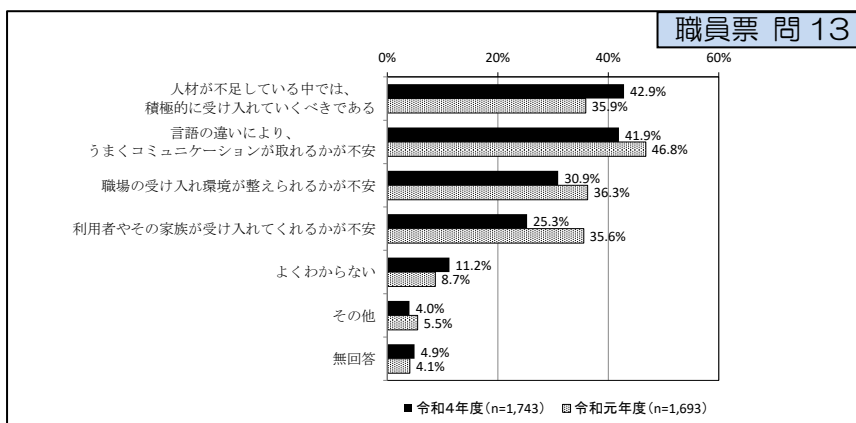
《図 14 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向》(単数回答)



- ・約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向は、「武蔵野市で働き続けたい」が41.0%、「先のことは考えていない」が46.4%だった。

(3) 外国人労働者の受け入れに対する考え

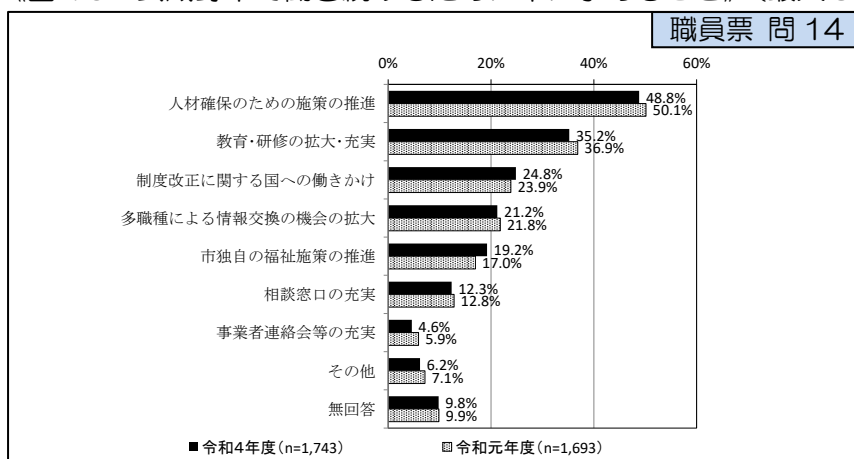
《図 15 外国人労働者の受け入れに対する考え》(最大3つまで)



- ・外国人労働者の受け入れに対しては、「人材が不足している中では、積極的に受け入れていくべきである」が42.9%、「言語の違いにより、うまくコミュニケーションが取れるかが不安」が41.9%だった。

#### (4) 武蔵野市で働き続けるために市に求めること

《図 16 武蔵野市で働き続けるために市に求めること》(最大3つまで)

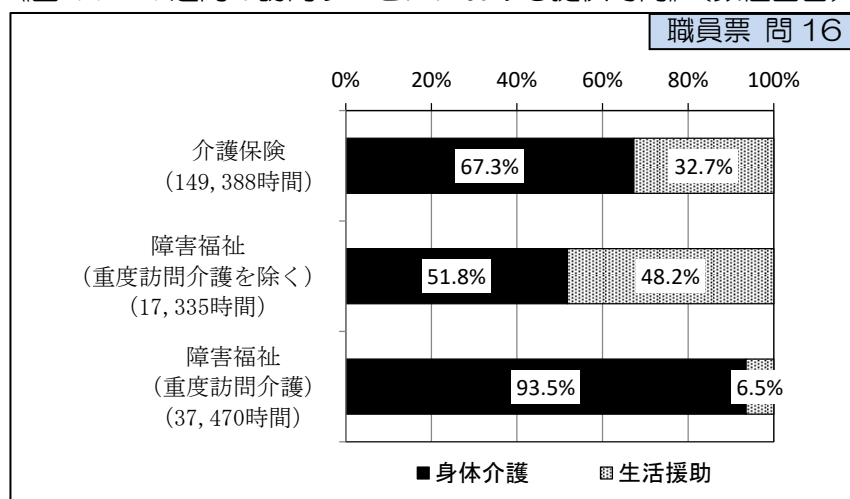


- ・武蔵野市で働き続けるために市に求めることとして、「人材確保のための施策の推進」が48.8%と最も多く、次いで「教育・研修の拡大・充実」が35.2%、「制度改正に関する国への働きかけ」が24.8%だった。

#### (5) 1週間の訪問サービスにおける提供時間

「訪問介護」、「訪問型サービス(介護予防・日常生活支援総合事業)」、「訪問入浴介護」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「夜間対応型訪問介護」、「居宅介護」、「重度訪問介護」、「同行援護」、「行動援護」、「移動支援」に所属している介護職員を対象

《図 17 1週間の訪問サービスにおける提供時間》(数値回答)

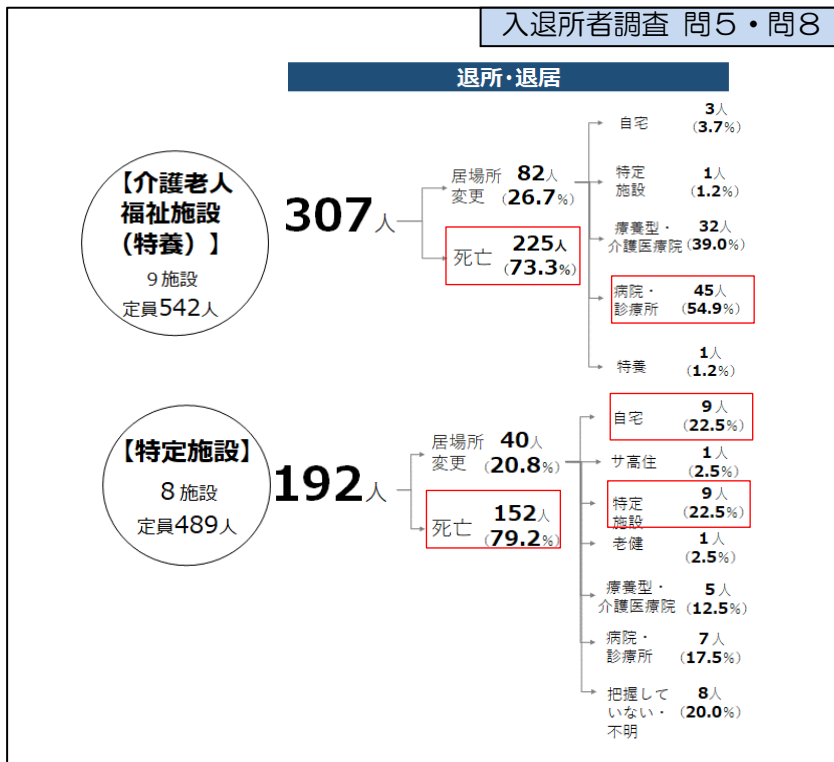


- ・介護保険法に定められた訪問サービスの1週間の提供時間のうち、「身体介護」は67.3%、「生活援助」は32.7%だった。
- ・障害福祉(重度訪問介護を除く)の訪問サービスの1週間の提供時間のうち、「身体介護」は51.8%、「生活援助」は48.2%となっている。
- ・障害福祉(重度訪問介護)の1週間の提供時間のうち、「身体介護」は93.5%、「生活援助」は6.5%だった。

#### 4 武蔵野市介護施設等における入退所調査 調査結果の概要

##### (1) 入所・入居及び退所・退居の流れ

《図 18 過去2年間の入所・入居及び退所・退居の流れ》(数値回答)



(注) 退所先別の割合は、居場所を変更した方に対する割合を示している。

(注) 入所・入居前の居場所についてはP54参照。

・過去2年間に「特別養護老人ホーム」9施設から退所した人数は307人だった。そのうち、死亡者は73.3%の225人だった。

また、居場所を変更した方の行先で最も多いのは「病院・診療所」だった。

・過去2年間に「特定施設入居者生活介護」8施設から退居した人数は192人だった。そのうち、死亡者は79.2%の152人だった。また、居場所を変更した方の行先で最も多いのは「自宅」、「特定施設入居者生活介護」だった。

##### (2) 退所・退居者の要支援・要介護度 (入退所者調査 問7)

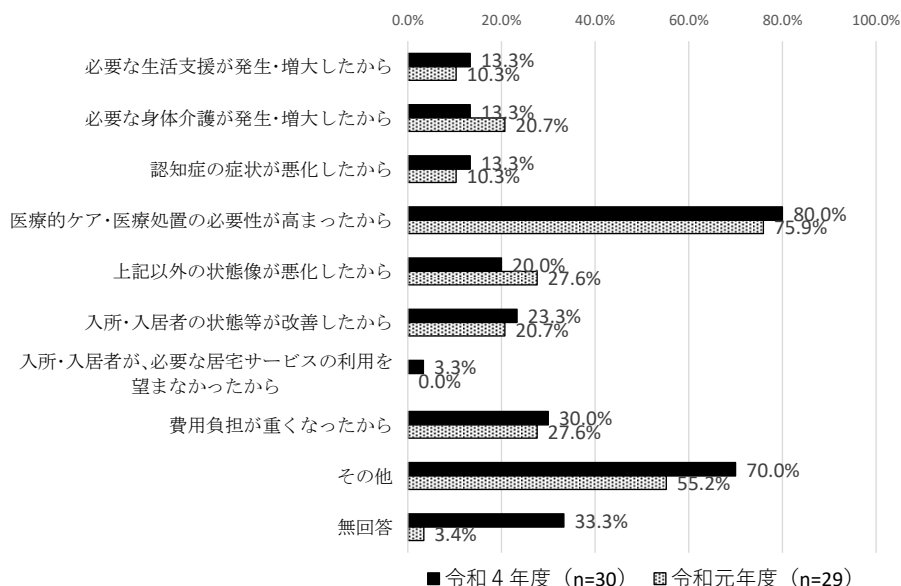
《図 19 要支援・要介護度別 退所・退去者の人数・割合》(数値回答) (単位:人)

	合計	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	新規申請中	死亡
全体	1,106	12	10	2	56	113	161	203	151	2	396
	100.0%	1.1%	0.9%	0.2%	5.1%	10.2%	14.6%	18.4%	13.7%	0.2%	35.8%
介護老人福祉施設	263	0	0	0	0	0	8	27	42	0	186
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	10.3%	16.0%	0.0%	70.7%
介護老人保健施設	537	0	0	0	34	91	133	156	86	0	37
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	16.9%	24.8%	29.1%	16.0%	0.0%	6.9%
特定施設入居者生活介護	169	3	4	1	11	8	9	10	11	0	112
	100.0%	1.8%	2.4%	0.6%	6.5%	4.7%	5.3%	5.9%	6.5%	0.0%	66.3%
認知症対応型共同生活介護	12	0	0	0	0	2	1	2	1	0	6
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	16.7%	8.3%	0.0%	50.0%
看護小規模多機能型居宅介護	29	0	0	0	0	2	3	0	6	0	18
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	10.3%	0.0%	20.7%	0.0%	62.1%
住宅型有料老人ホーム	41	1	1	0	2	2	2	2	2	0	29
	100.0%	2.4%	2.4%	0.0%	4.9%	4.9%	4.9%	4.9%	4.9%	0.0%	70.7%
サービス付き高齢者住宅	50	8	5	1	7	7	5	4	3	2	8
	100.0%	16.0%	10.0%	2.0%	14.0%	14.0%	10.0%	8.0%	6.0%	4.0%	16.0%
ケアハウス	5	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(注) 回答のあった施設等を集計対象としている。

### (3) 入所・入居者の退去理由（入退所者調査 問9）

《図 20 入所・入居者の退去理由》（上位3つまで回答）



・退去理由は全体として「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が最も多かった。

### (4) 入所・入居者の医療処置を受けている人数・割合（入退所者調査 問3）

《図 21 入所・入居者の医療処置を受けている人数・割合》（数値回答）（単位：人）

	合計	点滴の管理	透析	酸素療法	気管切開の処置	経管栄養	褥瘡の処置	喀痰吸引	中心静脈栄養	ストーマの処置	レスピレーター	疼痛の看護	モニター測定	カテーテル	インスリン注射
全体	1,458 100.0%	5 0.3%	5 0.3%	23 1.6%	0 0.0%	35 2.4%	30 2.1%	42 2.9%	0 0.0%	10 0.7%	1 0.1%	7 0.5%	1 0.1%	23 1.6%	14 1.0%
介護老人福祉施設	520 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.8%	0 0.0%	14 2.7%	6 1.2%	16 3.1%	0 0.0%	4 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 1.7%	2 0.4%
介護老人保健施設	235 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%	0 0.0%	10 4.3%	11 4.7%	16 6.8%	0 0.0%	4 1.7%	1 0.4%	3 1.3%	1 0.4%	7 3.0%	5 2.1%
特定施設入居者生活介護	382 100.0%	3 0.8%	2 0.5%	13 3.4%	0 0.0%	10 2.6%	10 2.6%	9 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.5%	0 0.0%	3 0.8%	4 1.0%
認知症対応型共同生活介護	31 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護小規模多機能型居宅介護	23 100.0%	2 8.7%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	1 4.3%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
住宅型有料老人ホーム	150 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.7%	2 1.3%
サービス付き高齢者住宅	93 100.0%	0 0.0%	1 1.1%	2 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ケアハウス	24 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%

（注）割合は各セルの人数を施設等ごとの入居・入所者数で除して算出

・入所・入居者の医療処置は全体として「喀痰吸引 (42人)」「経管栄養 (35人)」が多かった。



## 第3章 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査結果

### 【事業所票】

#### 1. 事業所の属性

問1 介護職員・看護職員・リハビリテーション職員の総数を実人数でお答えください。  
(令和4年10月1日現在) ※数値を記入、いない場合は「0」と記入

##### <介護職員>

	件数	平均	最大値	最小値
正規全体	160	5.7	53	0
介護サービス	103	6.8	53	0
障害福祉サービス	57	3.7	35	0
非正規全体	149	6.9	75	0
介護サービス	98	8.8	75	0
障害福祉サービス	51	3.3	20	0

##### <看護職員>

	件数	平均	最大値	最小値
正規全体	133	1.6	15.0	0.0
介護サービス	91	2.3	15.0	0.0
障害福祉サービス	42	0.3	4.0	0.0
非正規全体	127	1.5	19.0	0.0
介護サービス	85	2.1	19.0	0.0
障害福祉サービス	42	0.2	2.0	0.0

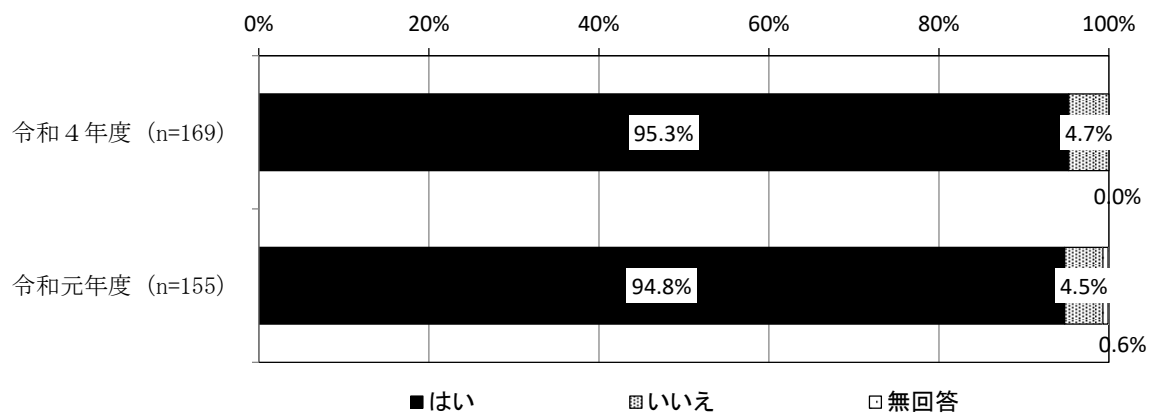
##### <リハビリテーション職員>

	件数	平均	最大値	最小値
正規全体	123	1.1	22.0	0.0
介護サービス	81	1.3	22.0	0.0
障害福祉サービス	42	0.5	6.0	0.0
非正規全体	120	0.5	9.0	0.0
介護サービス	80	0.7	9.0	0.0
障害福祉サービス	40	0.2	4.0	0.0

1 事業所あたりの職員数の平均値をみると、

- ・介護職員は正規職員が 5.7 人、非正規職員が 6.9 人だった。
- ・看護職員は正規職員が 1.6 人、非正規職員が 1.5 人だった。
- ・リハビリテーション職員は、正規職員が 1.1 人、非正規職員が 0.5 人だった。

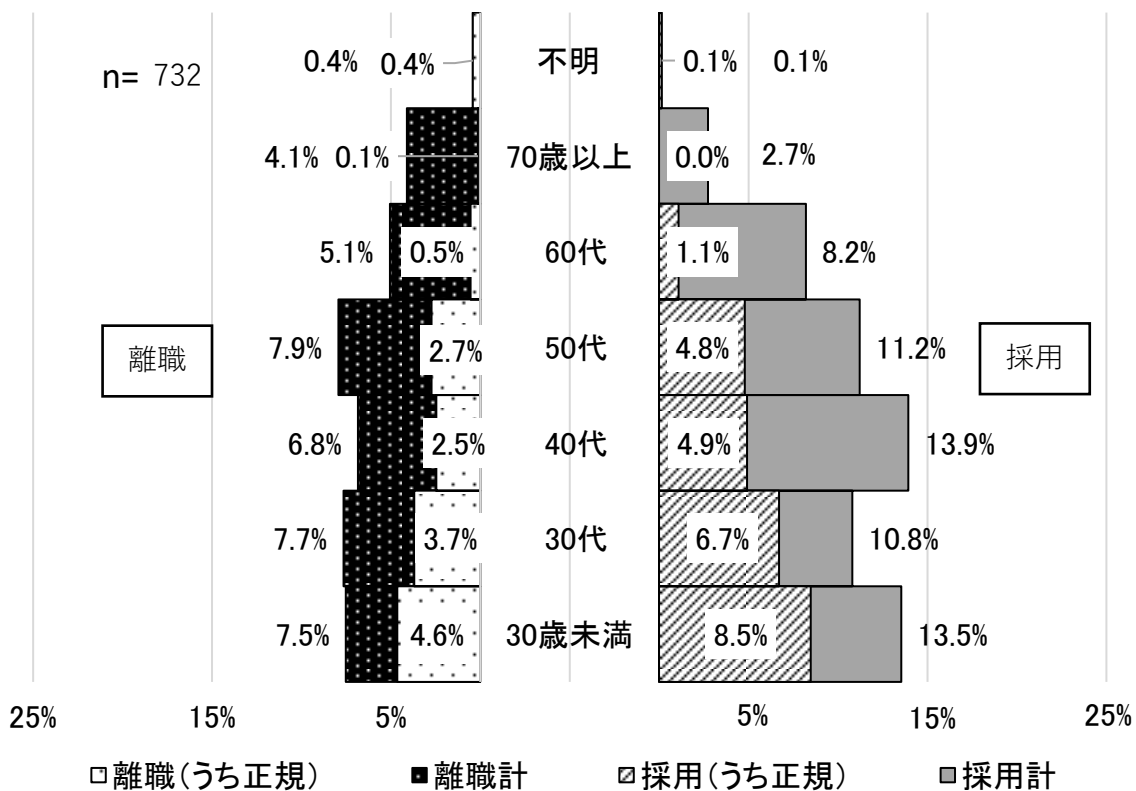
問2 貴施設・事業所はこの調査票を受け取った時点で、開設から 1 年以上経過していますか。 ※あてはまるもの 1 つに「○」



開設から 1 年以上経過している施設・事業所は、95.3%であった。

問3 過去1年間（令和3年10月1日～令和4年9月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を年齢別に実人数でお答えください。

※数値を記入、該当者がいない場合は「0」と記入



	離職者数（うち正規職員）	採用者数（うち正規職員）	増減数（採用者数－離職者数） （うち正規職員）
合計	289人（107人：37.0%）	443人（191人：43.1%）	154人（84人：54.5%）

※開設から1年以上経過している施設・事業所（161件）のうち、回答のあった156事業所を集計  
 ※上記グラフに示されている割合は、採用者数と離職者数の合計（732人）に対する割合を示す。

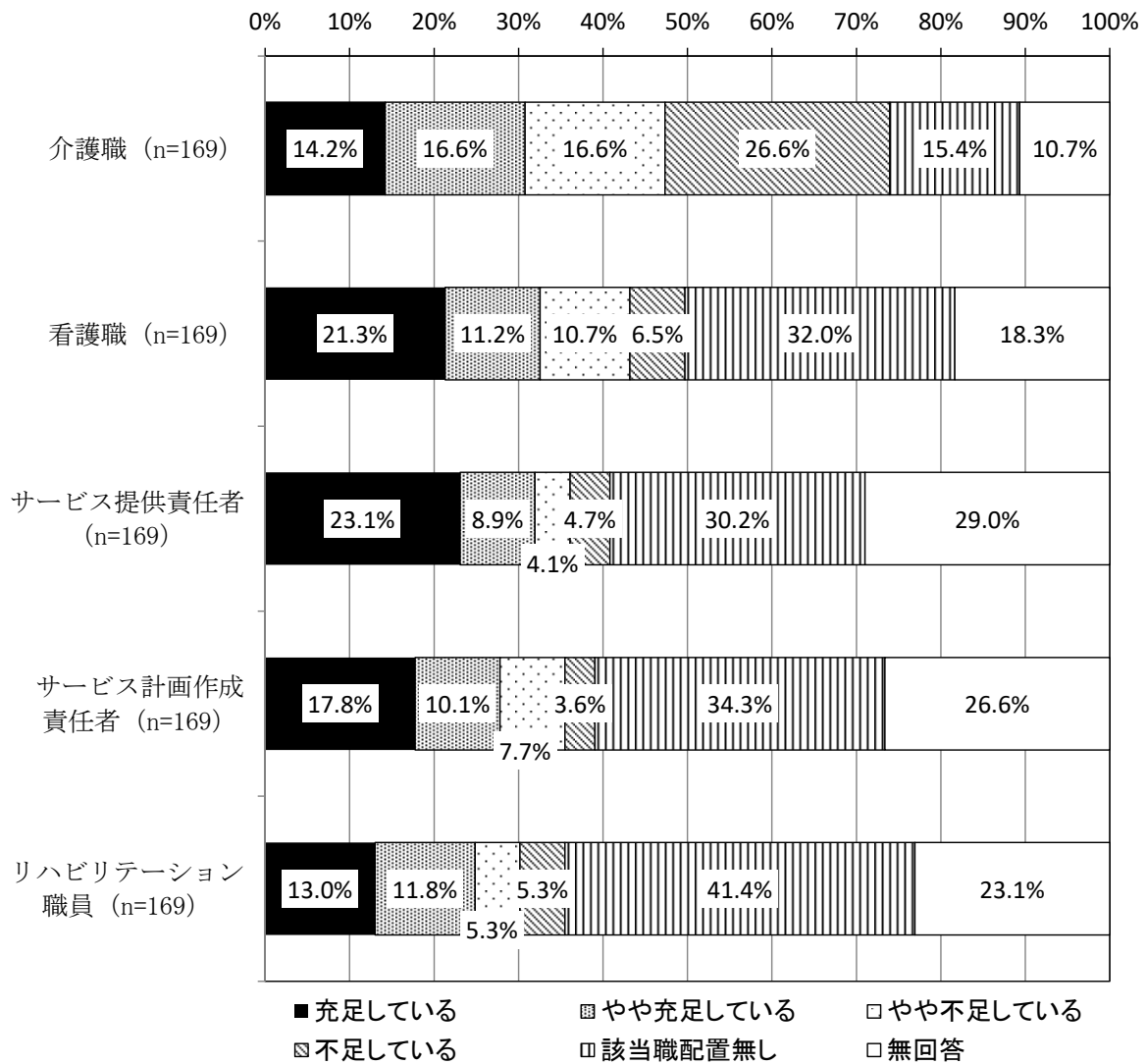
回答事業所全体の過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数を年代別にみると、「70歳以上」と「不明」を除いた全ての年代で、採用者数が離職者数を上回っている。

「採用者数」は合計443人で、うち正規職員は191人、採用者合計に占める正規職員の割合は43.1%だった。

また、「離職者数」は合計289人で、うち正規職員は107人、離職者合計に占める正規職員の割合は37.0%だった。

「増減数（採用者数－離職者数）」は154人だった。

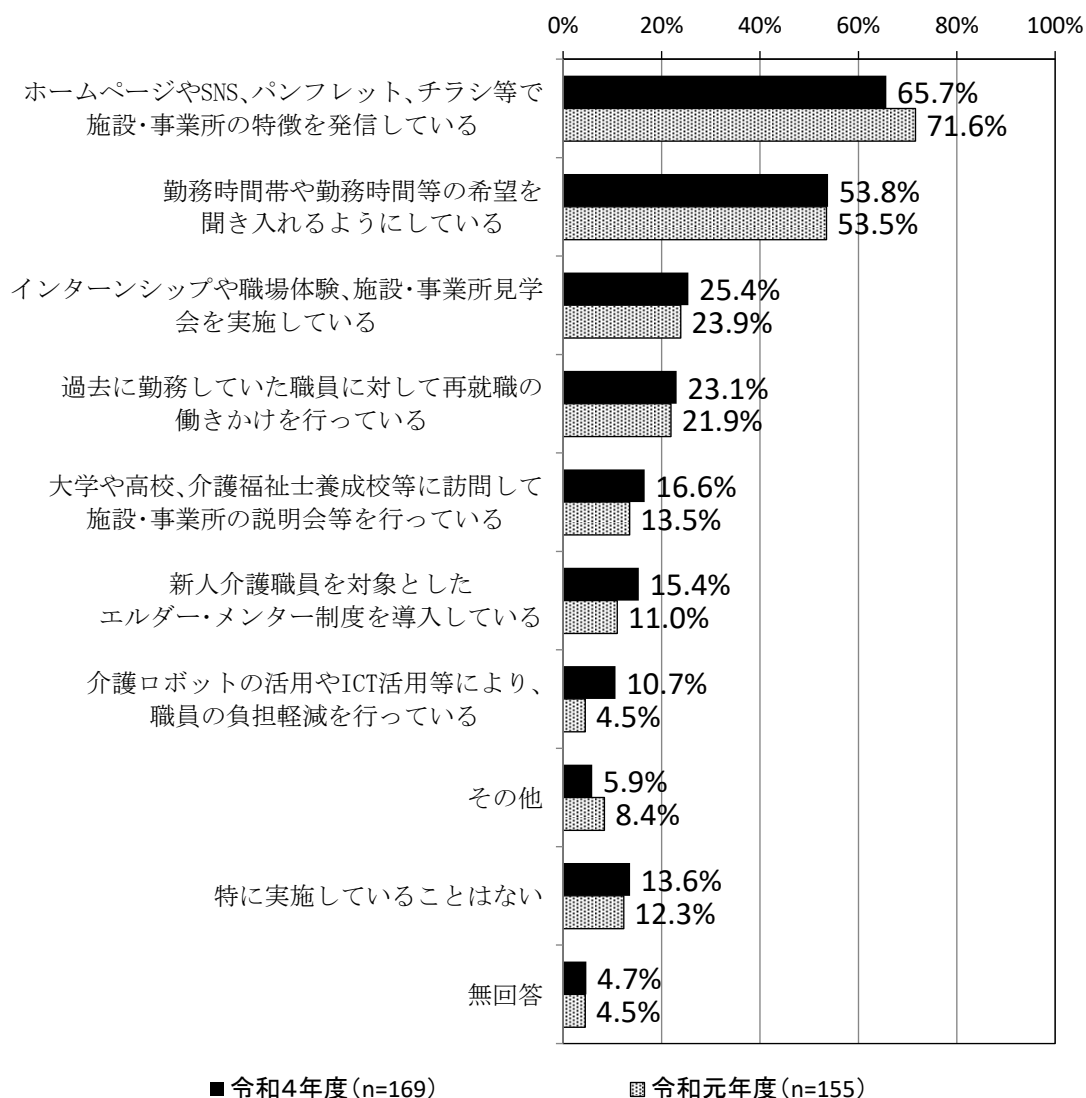
問4 貴施設・事業所で配置している職員の充足感についてお答えください。※あてはまるもの1つに「○」



職員の充足感については、介護職における「不足している」の割合が高く、26.6%だった。

## 2. 介護職員の確保に向けて実施している取組み

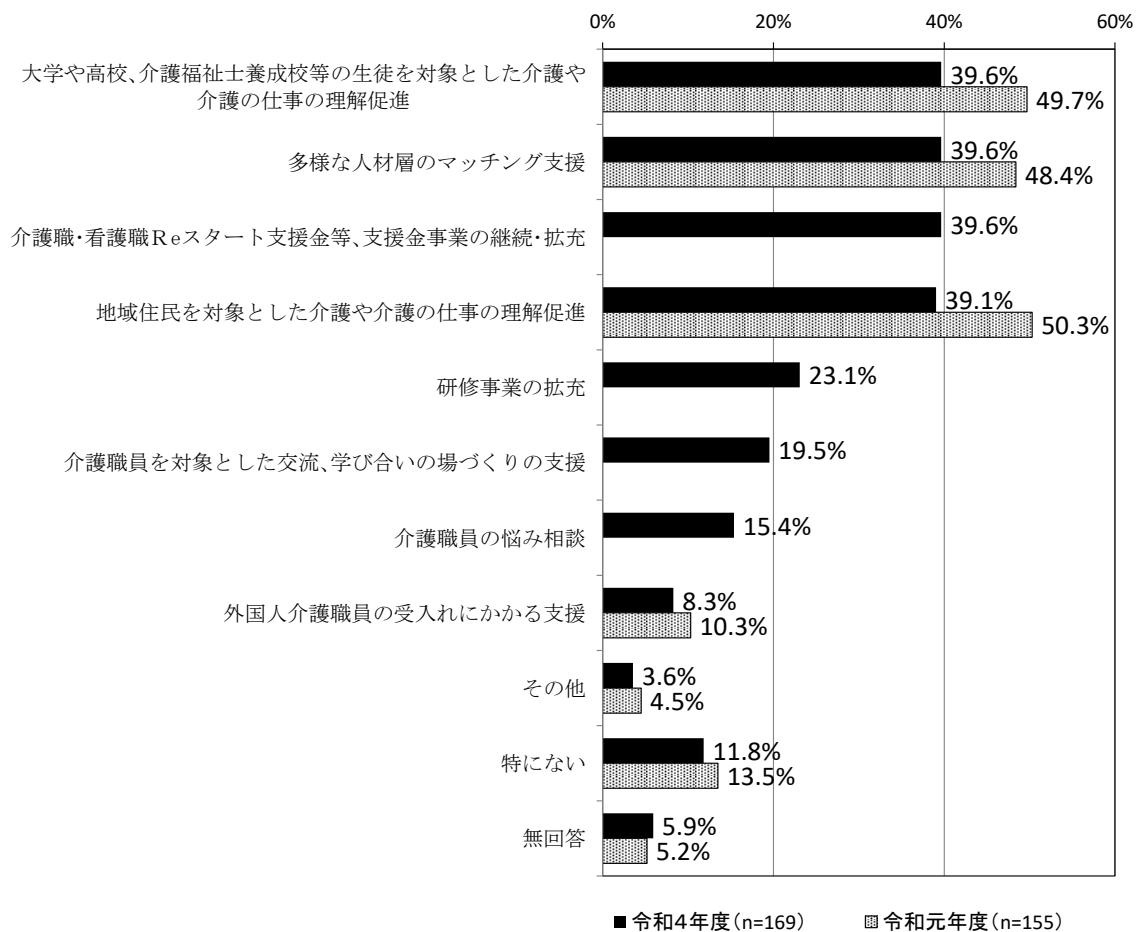
問5 介護職員の確保に向けて実施している取組みについてお答えください。※あてはまるものすべてに「○」



介護職員の確保に向けて実施している取組みについては、「ホームページやSNS、パンフレット、チラシ等で施設・事業所の特徴を発信している」が65.7%、「勤務時間帯や勤務時間等の希望（時短勤務等）を聞き入れるようにしている」が53.8%となっている。

「その他」には、「友人・知人への声かけ、入職就業に至った場合の寸志」、「知人の紹介制度」、「ハローワーク等に求人を出している」、「新人職員とは定期的に面談を行いサポートしている」等の回答がみられた。

問6 介護職員の確保に関して市に求める支援についてお答えください。 ※あてはまるものすべてに「○」

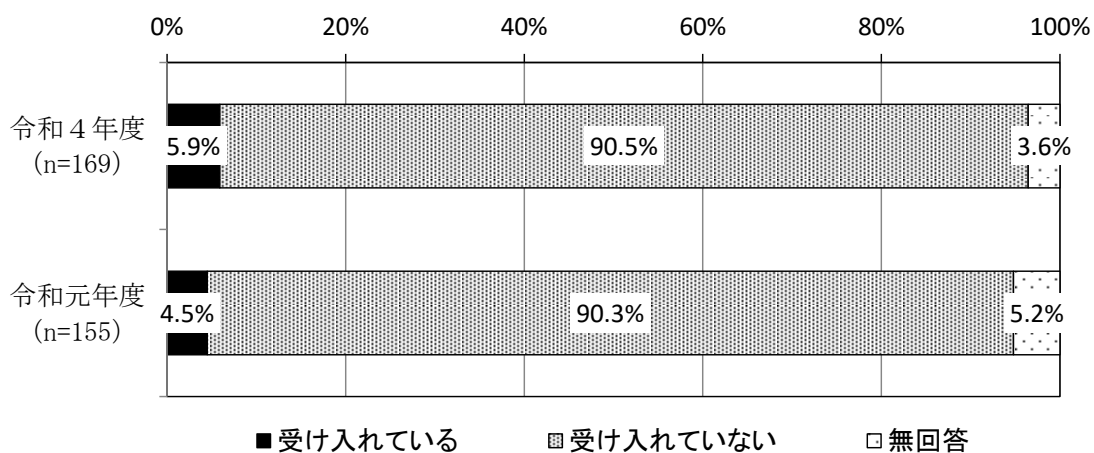


(注) 令和4年度調査では「介護職・看護職Reスタート支援金等、支援金事業の継続・拡充」、「研修事業の拡充」、「介護職員を対象とした交流、学び合いの場づくりの支援」、「介護職員の悩み相談」の選択肢を設けた。

介護職員の確保に関して市に求める支援は、「大学や高校、介護福祉士養成校等の生徒を対象とした介護や介護の仕事の理解促進」、「多様な人材層のマッチング支援」、「介護職・看護職Reスタート支援金等、支援金事業の継続・拡充」が39.6%だった。

「その他」には、「魅力を発信する機会づくり」、「施設間・職員間の交流支援」、「ICT導入の支援」、「利用者への啓蒙活動」、「保育士の人材確保への支援」等の回答がみられた。

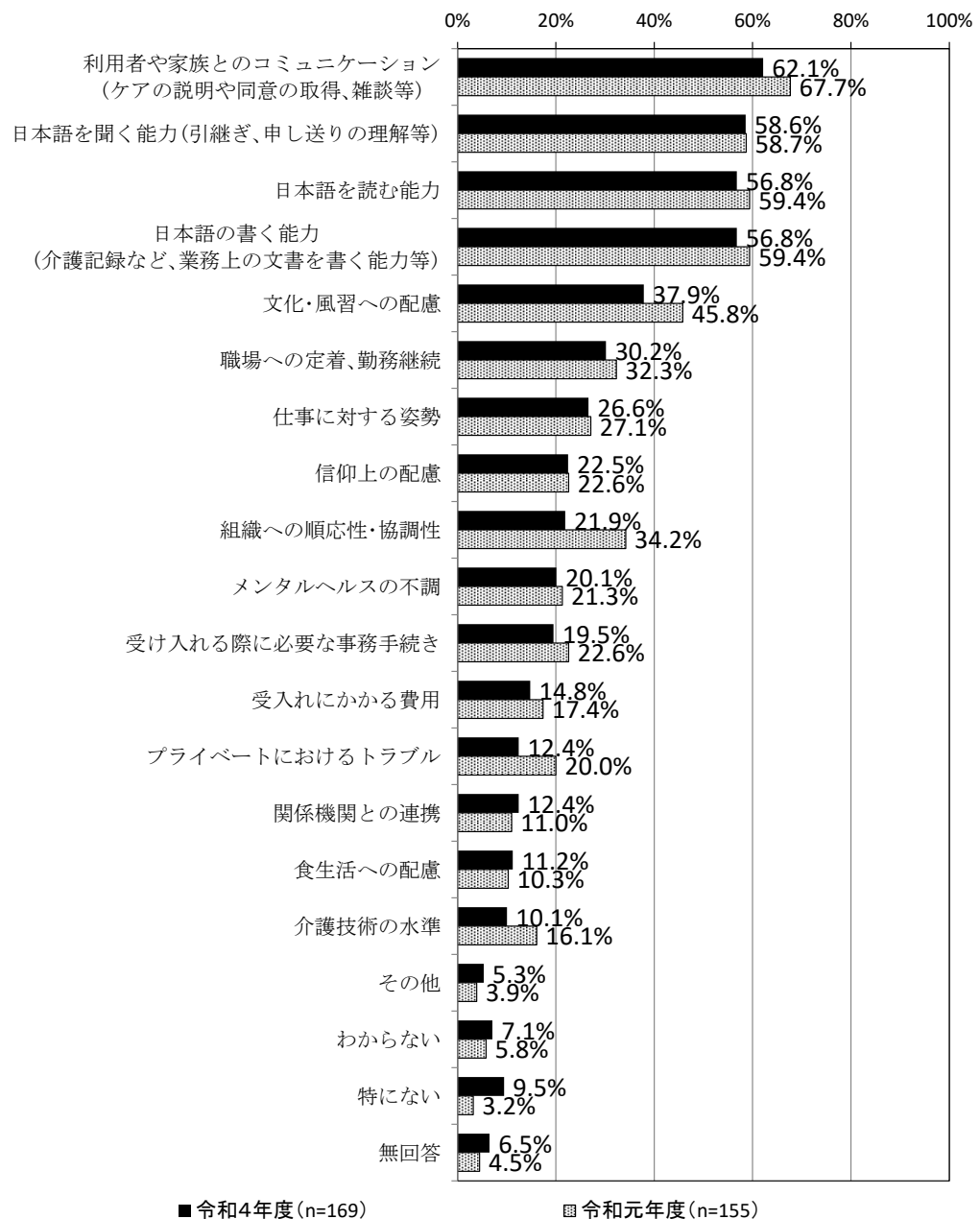
問7 現在、外国人介護職員（日本語が母語でない外国人）を受け入れていますか。※あてはまるもの1つに「○」



		事業所数	合計 (人)	平均値 (人)
外国人介護職員の受入れ件数	令和4年度調査	10	21	2.1
	令和元年度調査	8	24	3.0

外国人介護職員を受け入れている施設・事業所は 5.9% (10 件) であった。また、外国人介護職員の受入れ人数の平均値は 2.1 人であった。

問8 外国人介護職員の受入れにおいて課題と感ずることは何ですか。 ※あてはまるものすべてに「○」

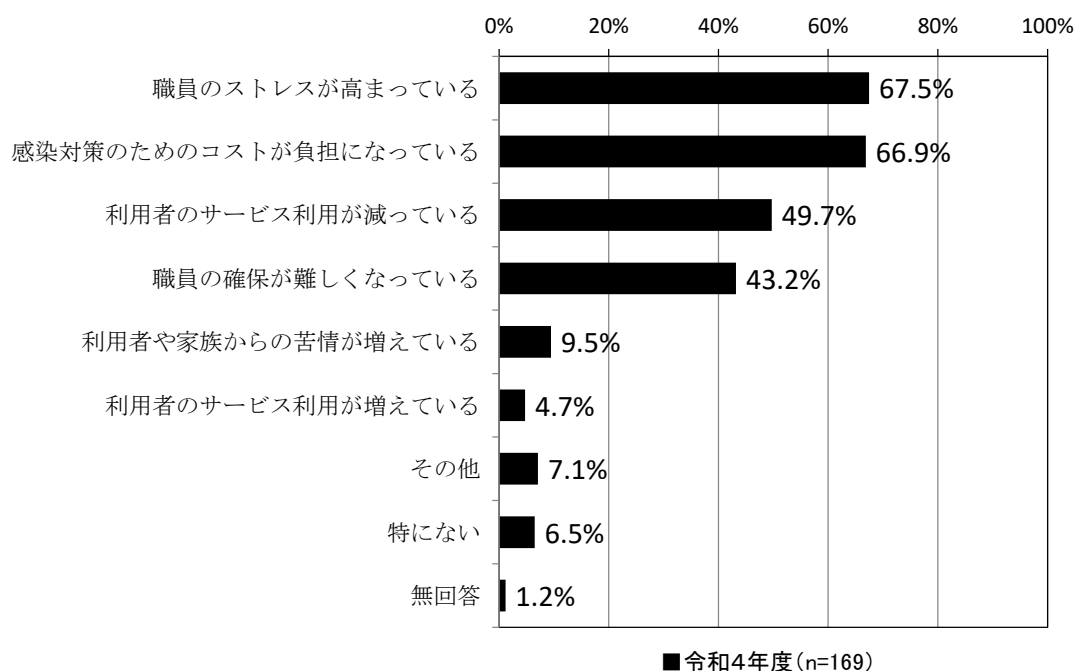


外国人介護職員の受入れにおいて課題と感ずることは、「利用者や家族とのコミュニケーション (ケアの説明や同意の取得、雑談等)」が62.1%と最も高く、次いで「日本語を聞く能力 (引継ぎ、申し送りの理解等)」が58.6%、「日本語を読む能力」、「日本語の書く能力 (介護記録など、業務上の文書を書く能力等)」が56.8%であった。

「その他」には、「日本文化の理解」等の回答がみられた。



問9 コロナ禍において業務に影響が生じていることについてお答えください。※あてはまるものすべてに「○」



コロナ禍において業務に影響が生じていることについては、「職員のストレスが高まっている」の割合が67.5%と最も高く、次いで「感染対策のためのコストが負担になっている」が66.9%だった。

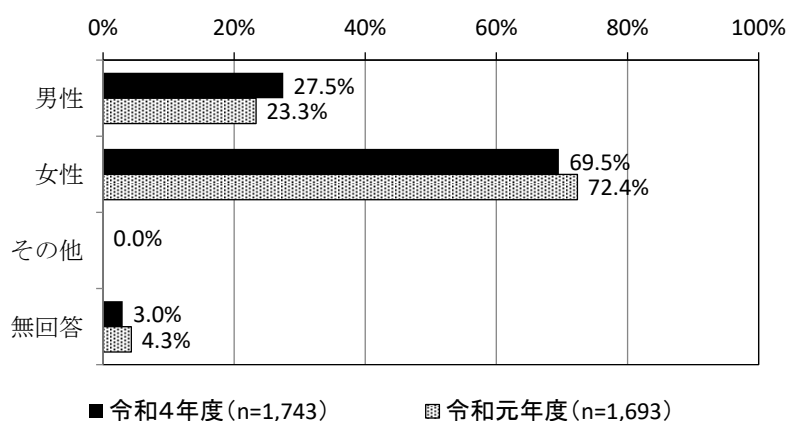
「その他」には、「シフトづくりが大変」、「退院前カンファレンスやサービス担当者会議が開催されにくく、連携、情報共有の場が少ない」、「行政からの書類依頼により、職員の仕事量の増加と負担が著しい」、「面会制限による利用者家族からの不満が出ている。また、同じ理由で新規利用を躊躇する方が増えている」、「職場内交流が減少」、「休んだ時への利用者宅への訪問を他のスタッフがカバーするのが少し大変」等の回答がみられた。

# 【職員票】

## 3. 回答者の属性

ここでは、回答のあった介護職員、看護職員、リハビリテーション職員 1,743 人の属性について記す。

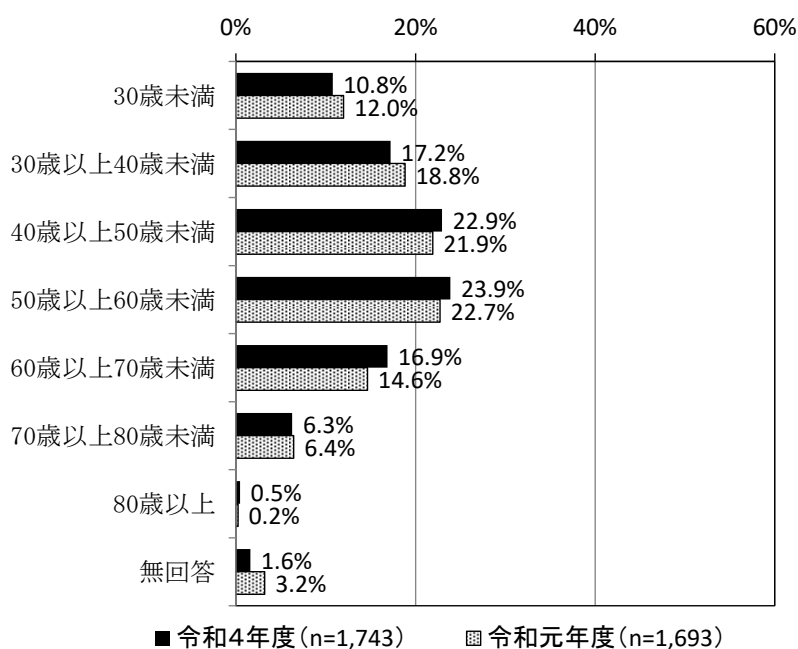
### 問1 性別（1つに○）



(注) 令和4年度調査では「その他」の選択肢を設けた。

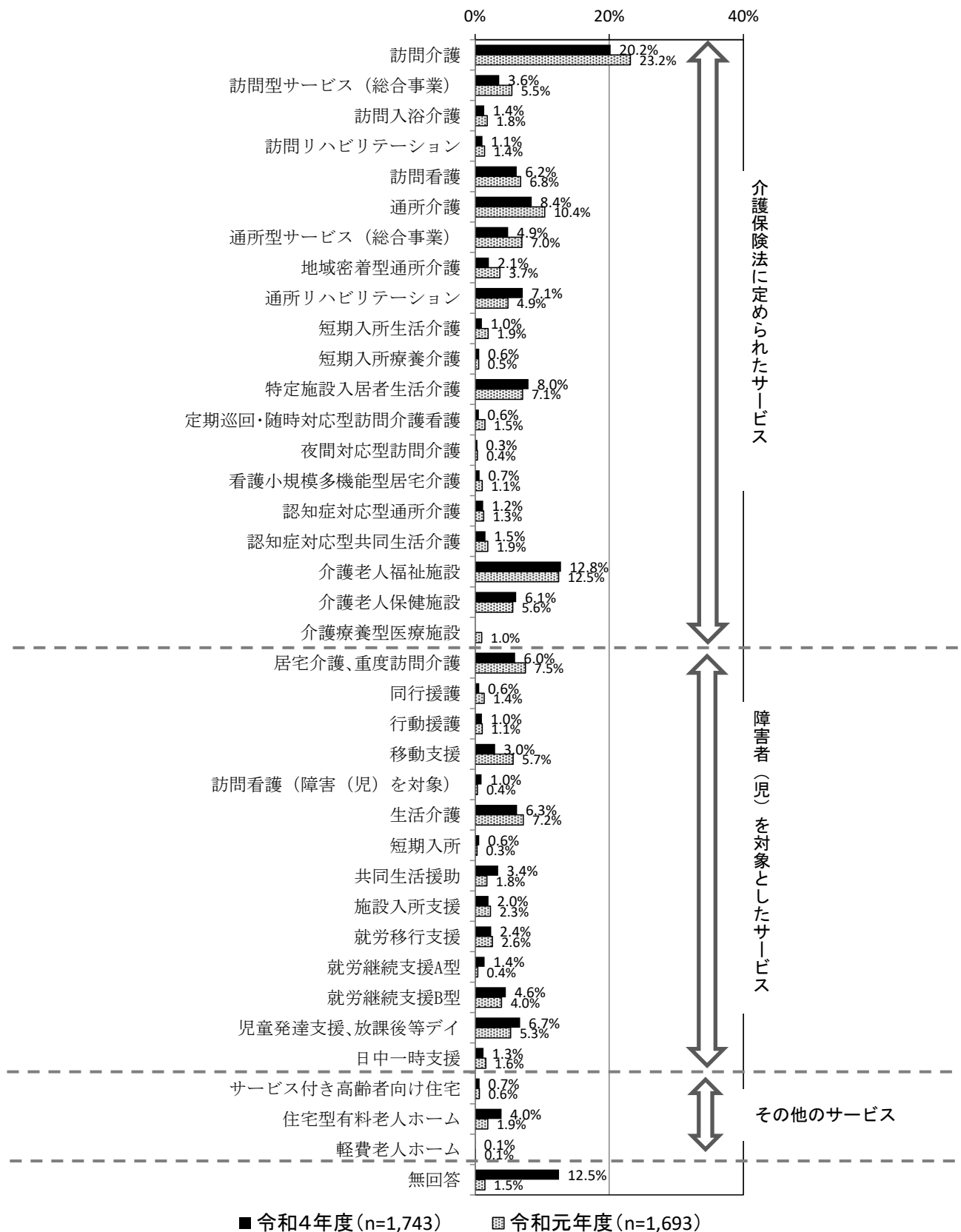
性別は、「男性」が27.5%、「女性」が69.5%となっている。

### 問2 年齢（数字を記入）※令和4年10月1日現在



年齢区分は、「50歳以上60歳未満」が23.9%、「40歳以上50歳未満」が22.9%、次いで「30歳以上40歳未満」が17.2%となっている。

問3 所属（複数選択可）※兼務先を含む



(注1) 令和4年度調査では、「介護療養型医療施設」の選択肢は設けなかった。

(注2) 介護保険の所属先不明、障害者（児）の所属先不明、その他の所属先不明は「無回答」に含めた。

(介護保険法に定められたサービス)

介護保険法に定められたサービスでは、「訪問介護」の割合が20.2%と最も高く、次いで「介護老人福祉施設」が12.8%、「通所介護」が8.4%となっている。

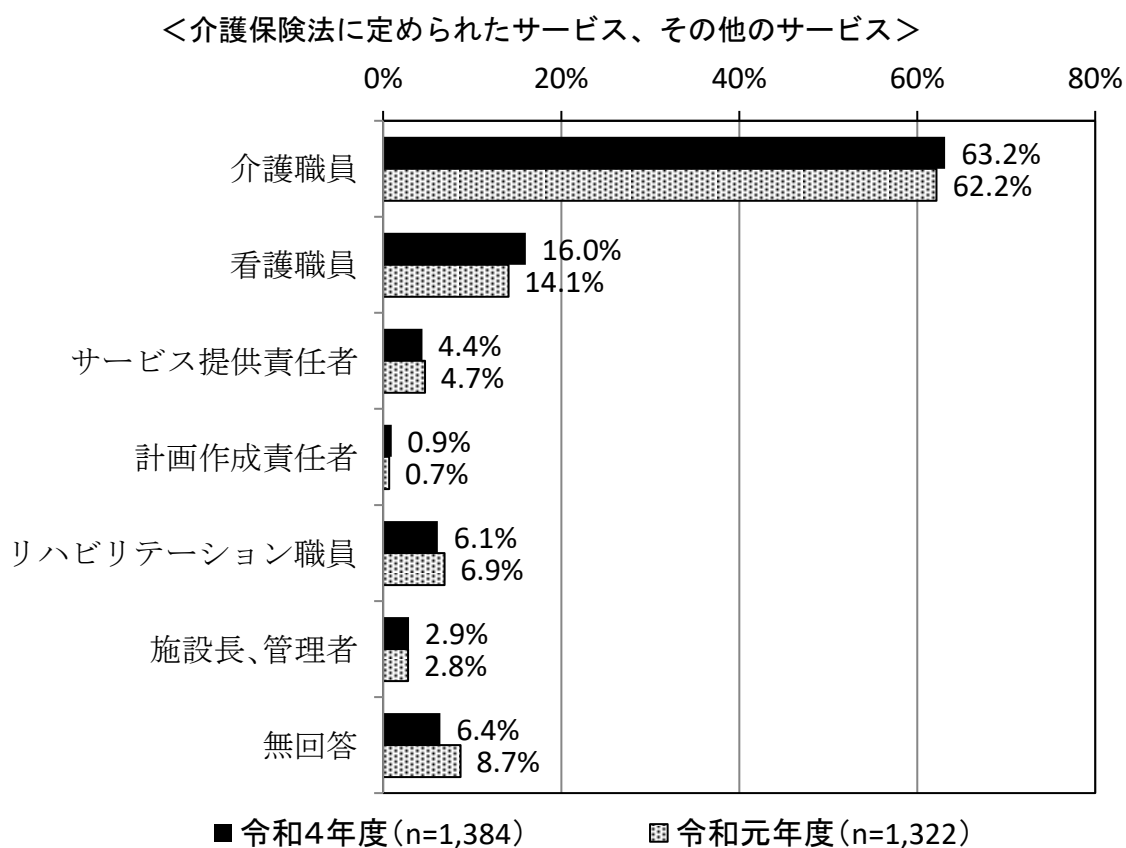
(障害者（児）を対象としたサービス)

障害者（児）を対象としたサービスでは、「児童発達支援、放課後等デイ」の割合が6.7%と最も高く、次いで「生活介護」が6.3%、「居宅介護、重度訪問介護」が6.0%となっている。

(その他のサービス)

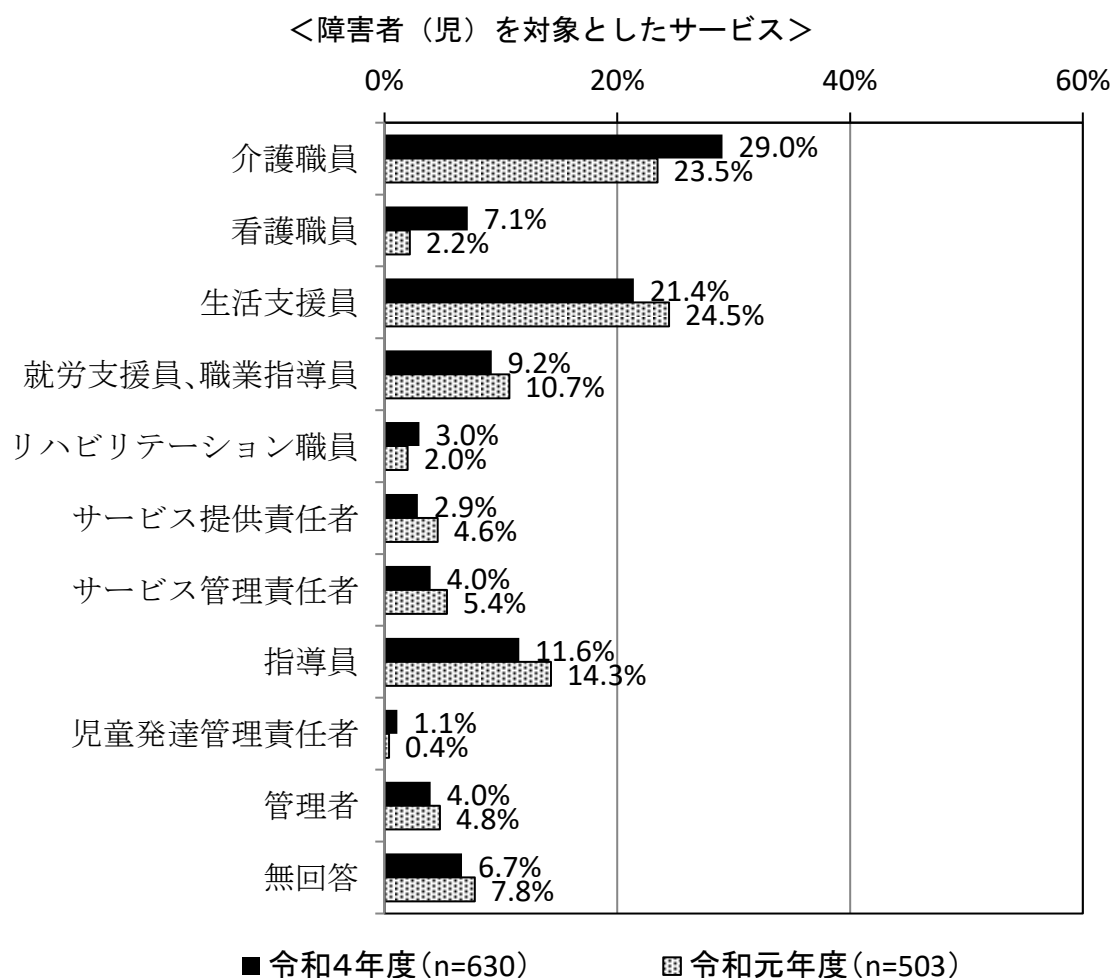
その他のサービスでは、「住宅型有料老人ホーム」が4.0%となっている。

問4 (1) 問3 (1) (3) のサービスから1つ以上選択した方に伺います。主な職種1つに○してください。



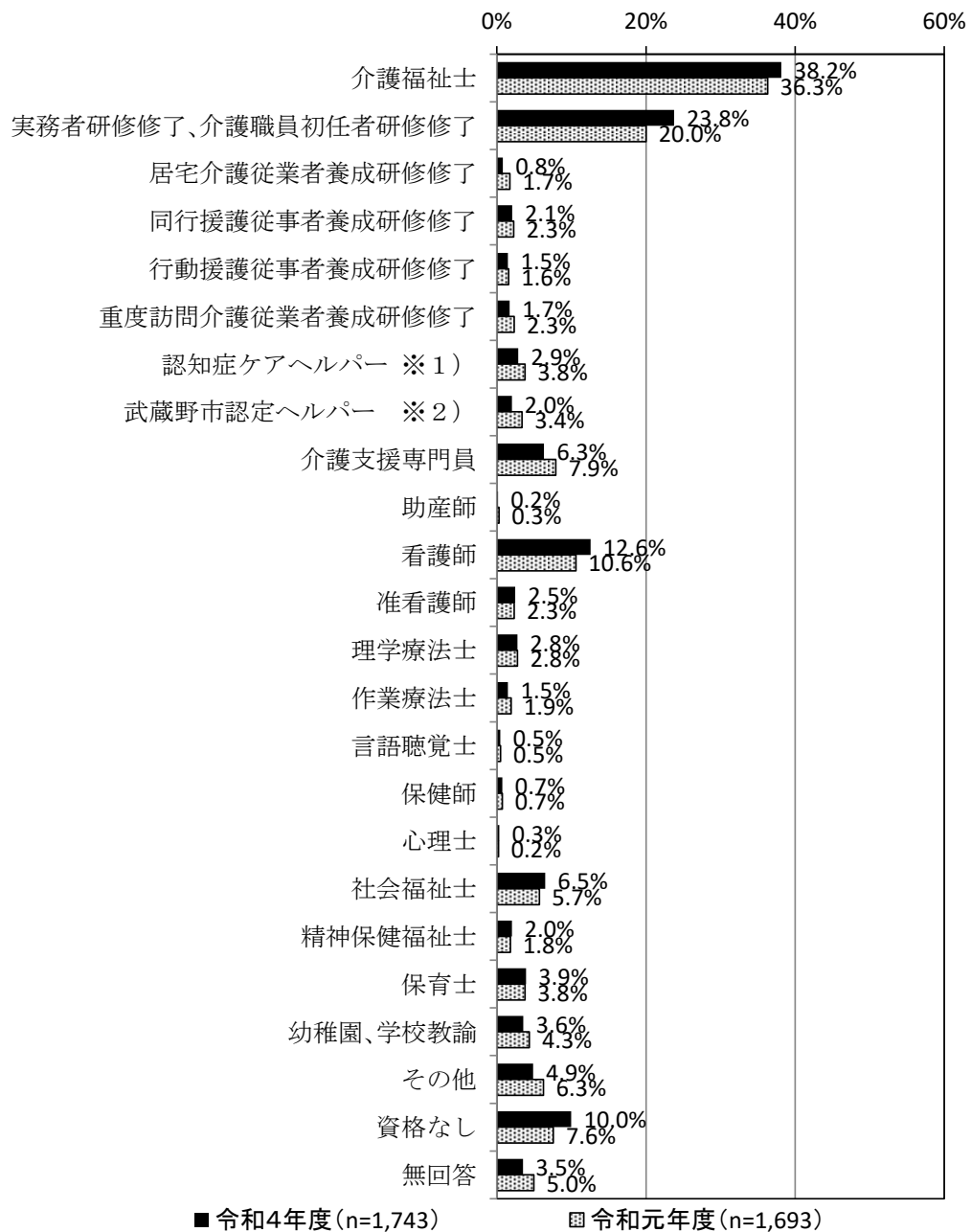
介護保険法に定められているサービスに属している人の主な職種は、「介護職員」の割合が63.2%と最も高く、次いで「看護職員」が16.0%となっている。

問4(2) 問3(2)のサービスから1つ以上選択した方に伺います。主な職種1つに○してください。



障害者（児）を対象としたサービスに属している人の主な職種は、「介護職員」の割合が29.0%と最も高く、次いで「生活支援員」が21.4%、「指導員」が11.6%となっている。

問5 保有資格（複数選択可）



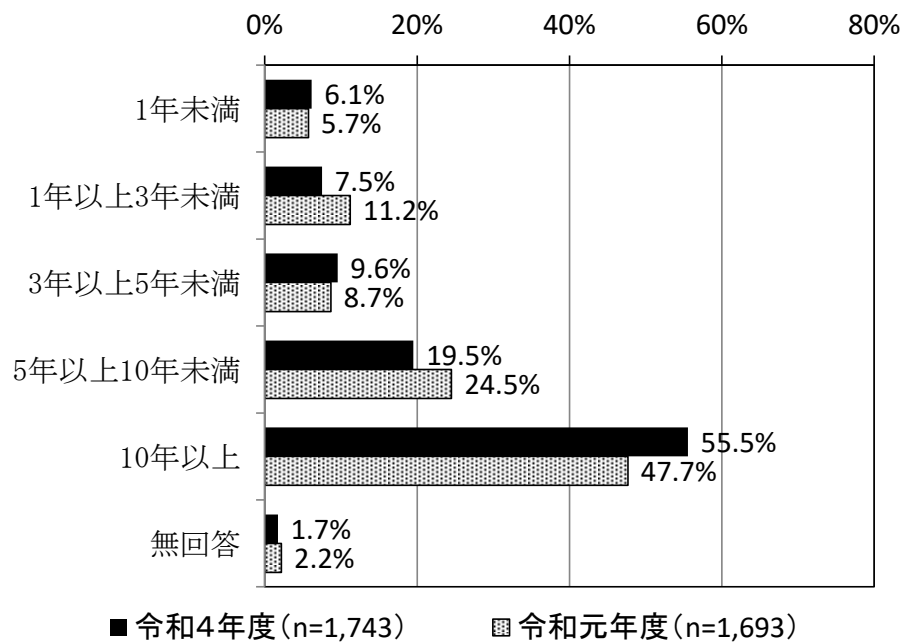
※1) 「認知症ケアヘルパー」とは、武蔵野市が独自に実施する研修（16時間）を受講し、修了後に「認知症高齢者見守り支援事業」において、認知症高齢者の見守りや外出支援など、介護保険の給付対象とならないサービスを提供することができる資格

※2) 「武蔵野市認定ヘルパー」とは、武蔵野市が独自に実施する研修（3日間、18時間程度の講義及び実習）を受講し、修了後に総合事業の訪問型サービスにおいて、家事援助を提供することができる資格

保有資格は、「介護福祉士」が38.2%と最も多く、次いで「実務者研修修了、介護職員初任者研修修了」が23.8%、「看護師」が12.6%となっている。

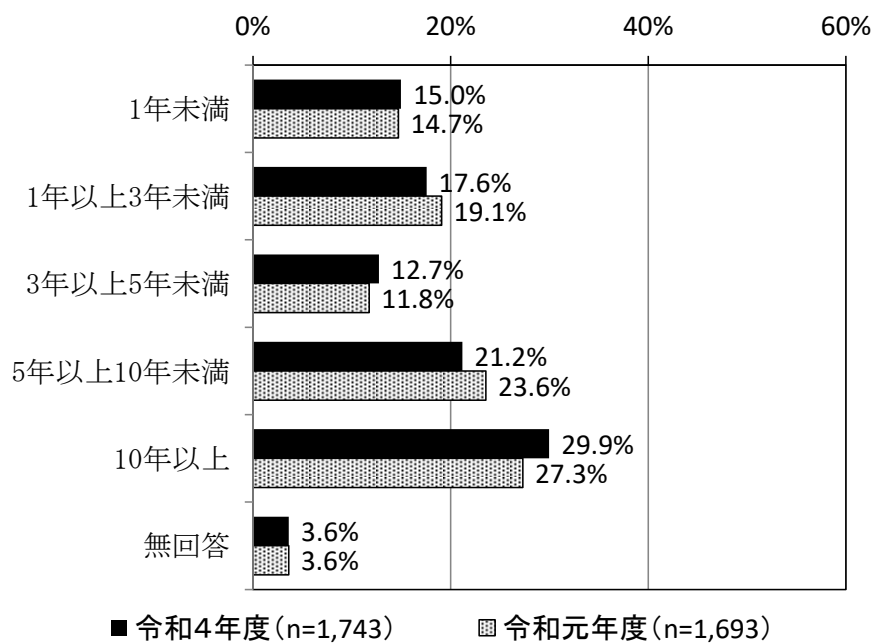
問6 経験年数（数字を記入） ※介護・福祉関係の仕事に現業として従事したトータル

◇経験年数



介護・福祉関係の仕事に現業として従事した年数は、「10年以上」が55.5%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」が19.5%となっている。

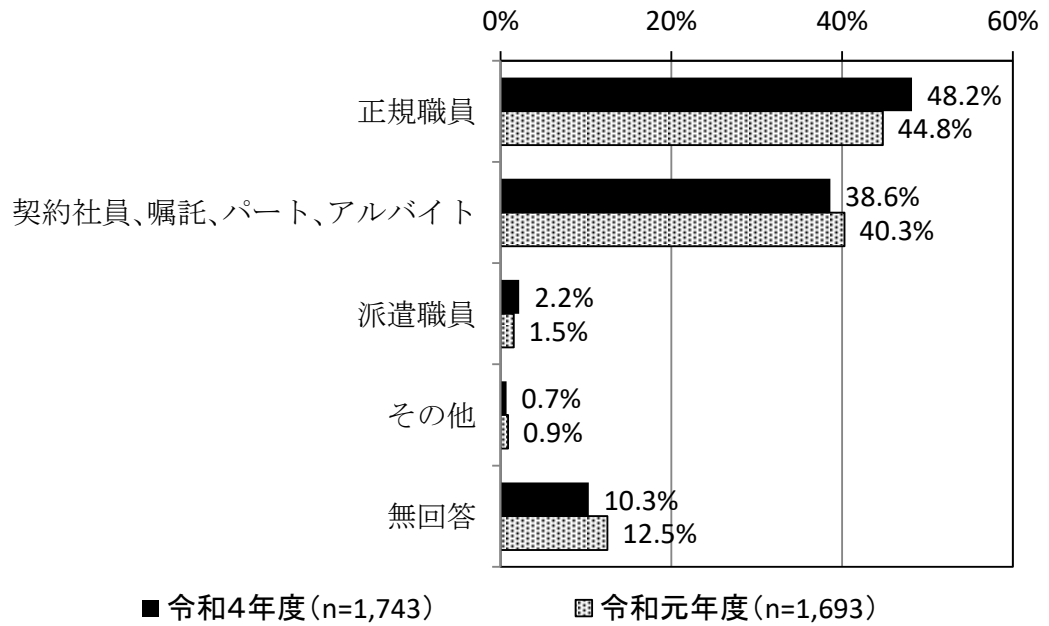
◇市内における経験年数



市内における介護・福祉関係の仕事に従事した年数は、「10年以上」が29.9%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」が21.2%となっている。

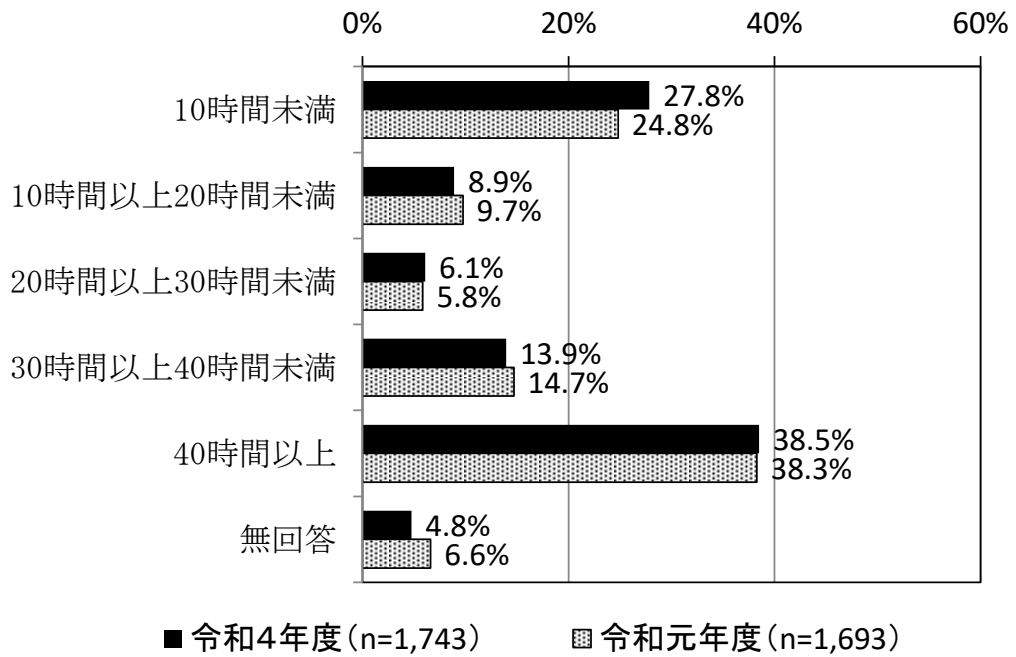


問7 雇用形態（1つに○）



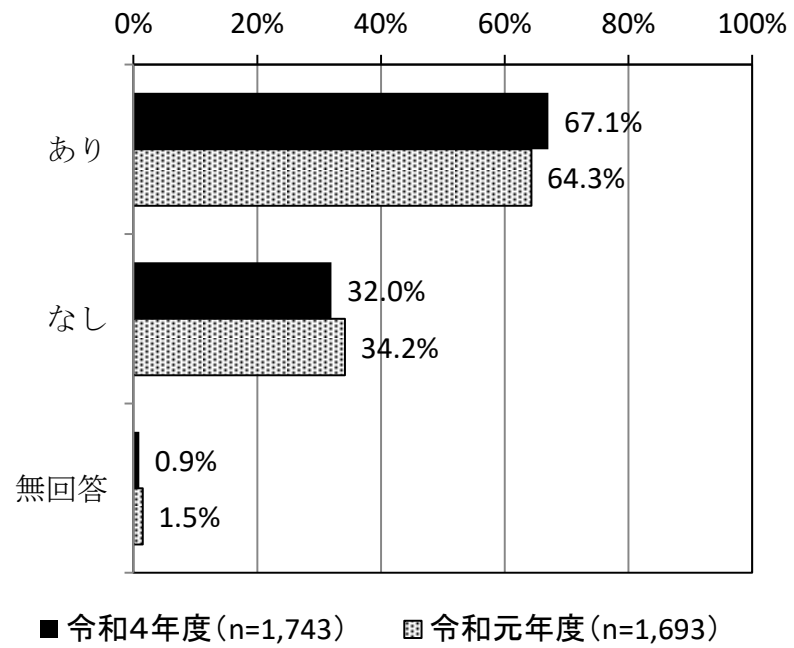
雇用形態は、「正規職員」が48.2%と最も多く、次いで「契約社員、嘱託、パート、アルバイト」が38.6%となっている。

問8 勤務時間（直近1週間分、数字を記入）※兼務先の勤務時間含む



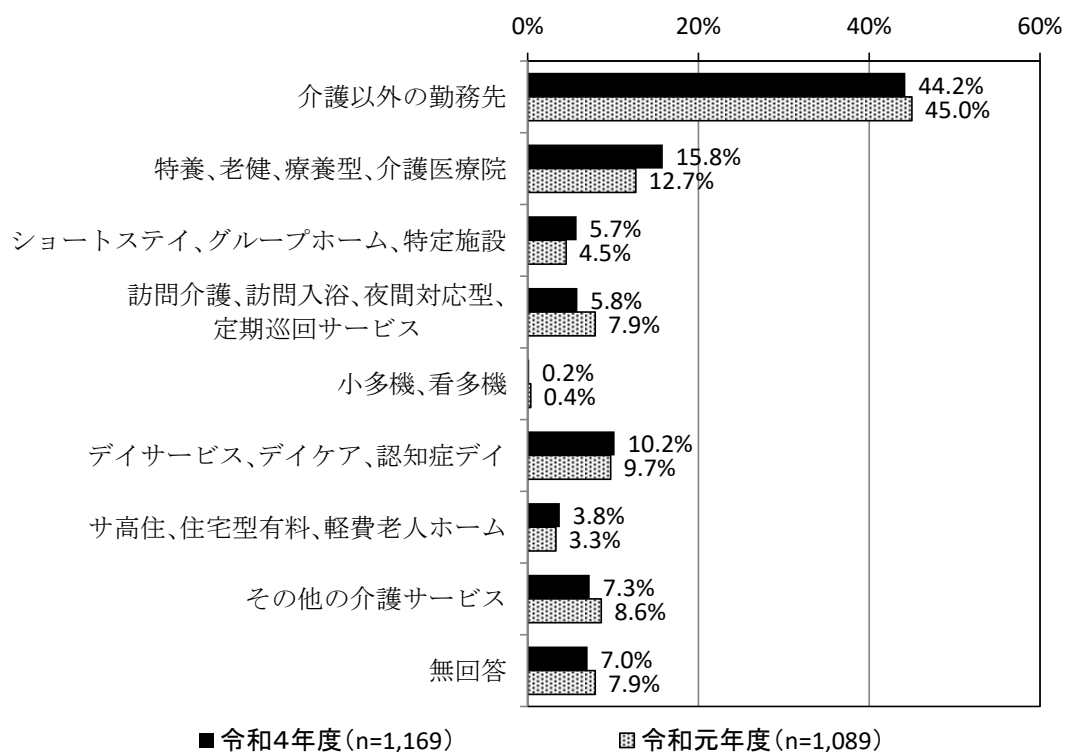
勤務時間は、「40時間以上」が38.5%と最も多く、次いで「10時間未満」が27.8%となっている。

問9 転職経験（1つに○）



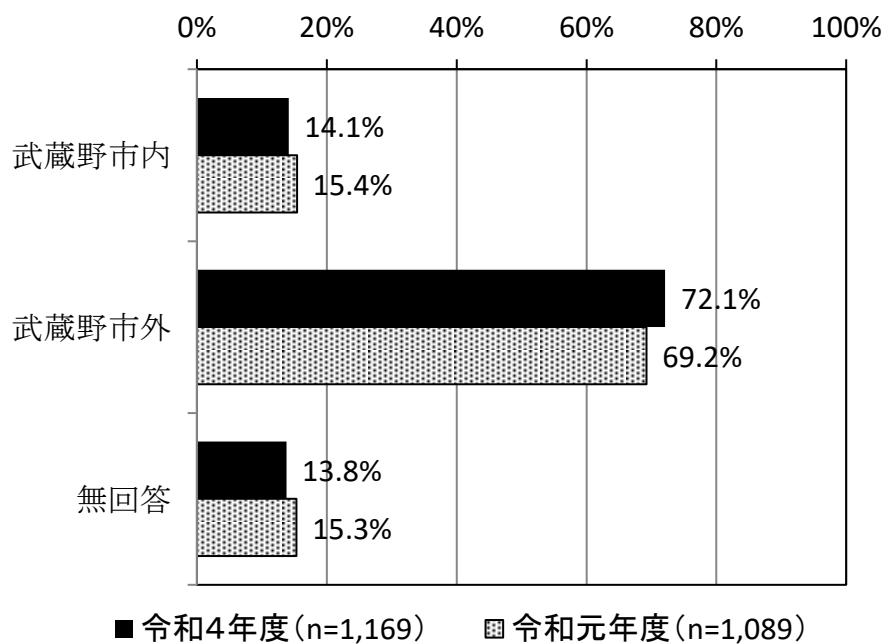
転職経験は、「あり」が67.1%、「なし」が32.0%となっている。

問9-1 問9で「① あり」を選択した方に伺います。現在の1つ前の勤務先（1つに○）



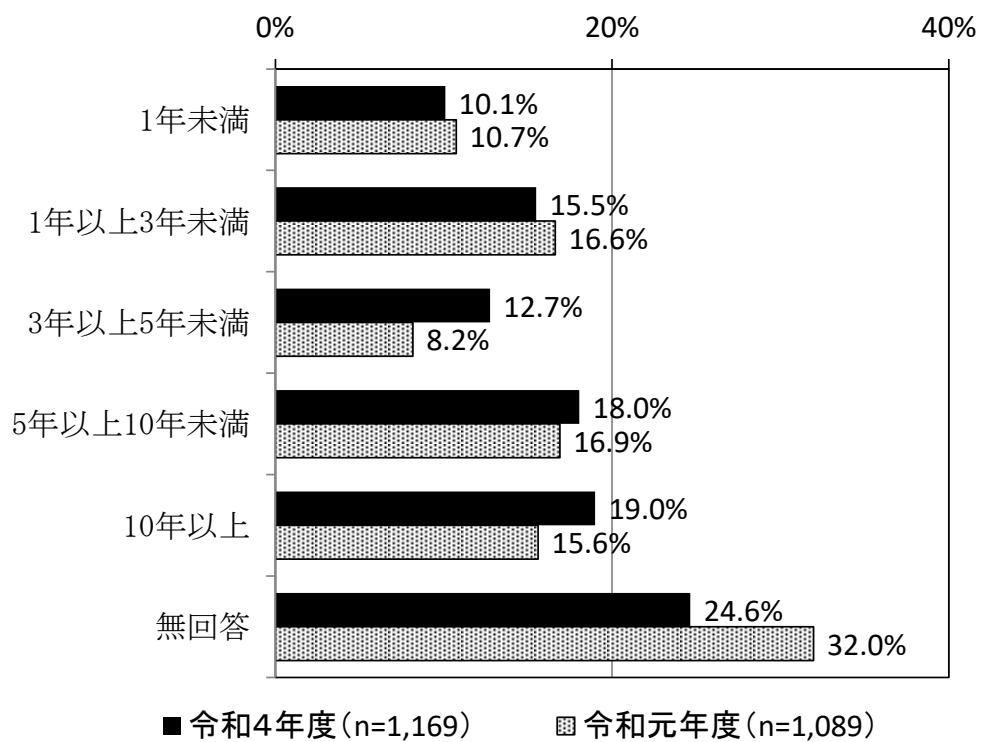
転職経験「あり」と回答した方（1,169人）に、現在の1つ前の勤務先を尋ねたところ、「介護以外の勤務先」の割合が44.2%と最も多く、次いで「特養、老健、療養型、介護医療院」が15.8%となっている。

問9-2 問9で①と答えた方に伺います。現在の1つ前の勤務先の所在地



転職経験「あり」と回答した方(1,169人)に、現在の1つ前の所在地を尋ねたところ、「市内」が14.1%、「市外」が72.1%となっている。

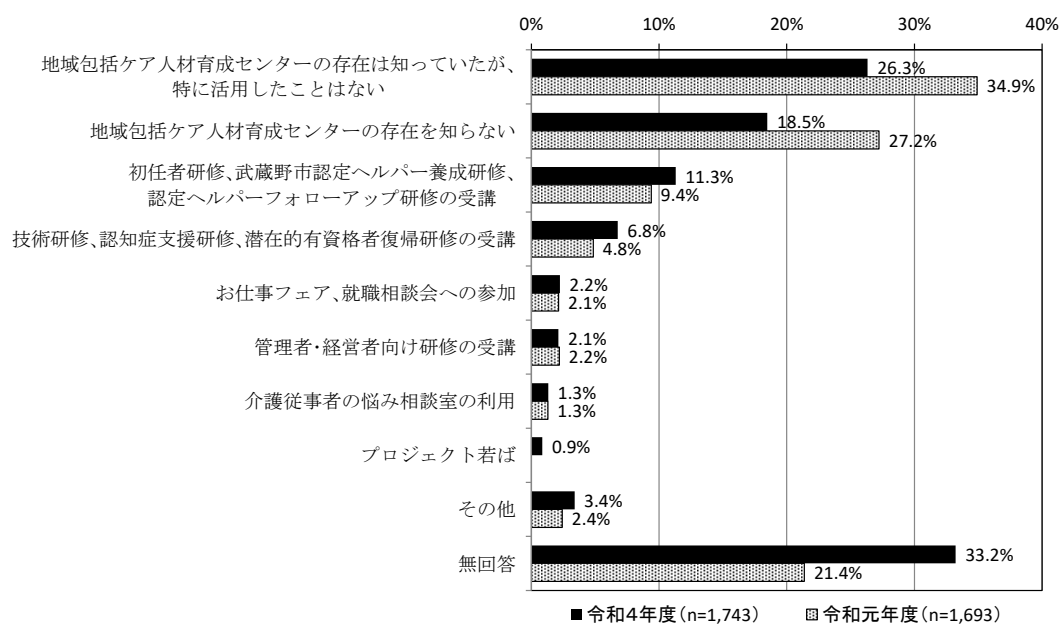
問9-3 問9で①と答えた方に伺います。転職したのは何年前ですか。(数字を記入)



転職した時期は、無回答以外では「10年以上」前が19.0%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」前が18.0%、「1年以上3年未満」前が15.5%となっている。

#### 4. 地域包括ケア人材育成センターについて

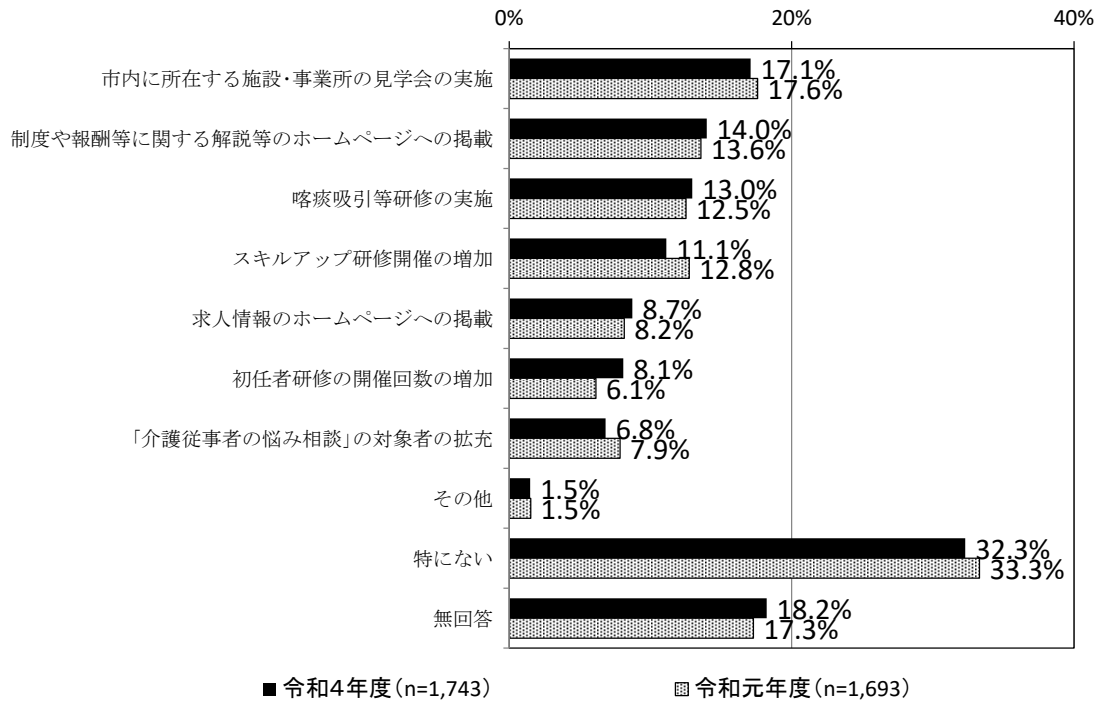
問 10 地域包括ケア人材育成センターの活用状況（複数選択可）



（注）令和4年度調査では、「プロジェクト若ば」の選択肢を設けた。

地域包括ケア人材育成センターの活用状況は、「地域包括ケア人材育成センターの存在は知っていたが、特に活用したことはない」の割合が26.3%、次いで「地域包括ケア人材育成センターの存在を知らない」が18.5%、「初任者研修、武蔵野市認定ヘルパー養成研修、認定ヘルパーフォローアップ研修の受講」が11.3%となっている。

問 11 地域包括ケア人材育成センターに求めること（複数選択可）

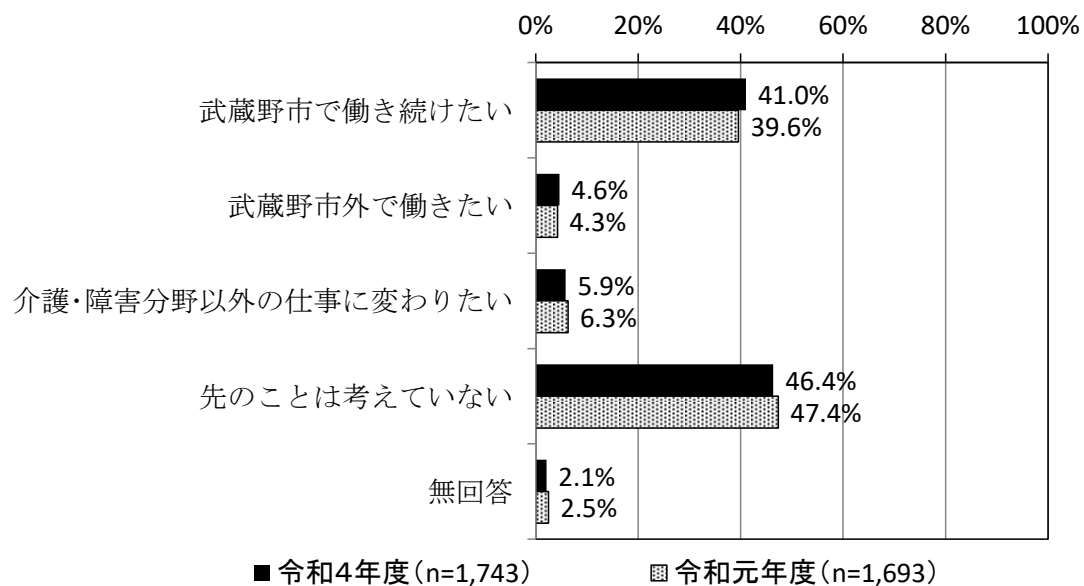


地域包括ケア人材育成センターに求めることは、「特にない」以外では「市内に所在する施設・事業所の見学会の実施」が17.1%、「制度や報酬等に関する解説等のホームページへの掲載」が14.0%となっている。



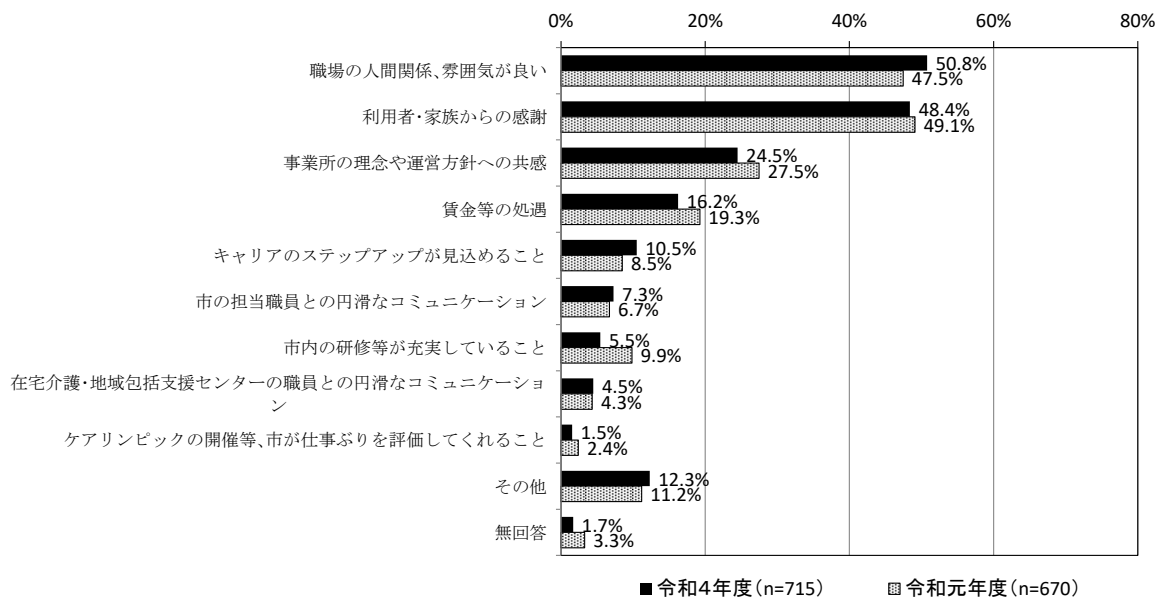
## 5. 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向

問 12 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向（1つに○）



約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向は、「武蔵野市で働き続けたい」が41.0%、「先のことは考えていない」が46.4%となっている。

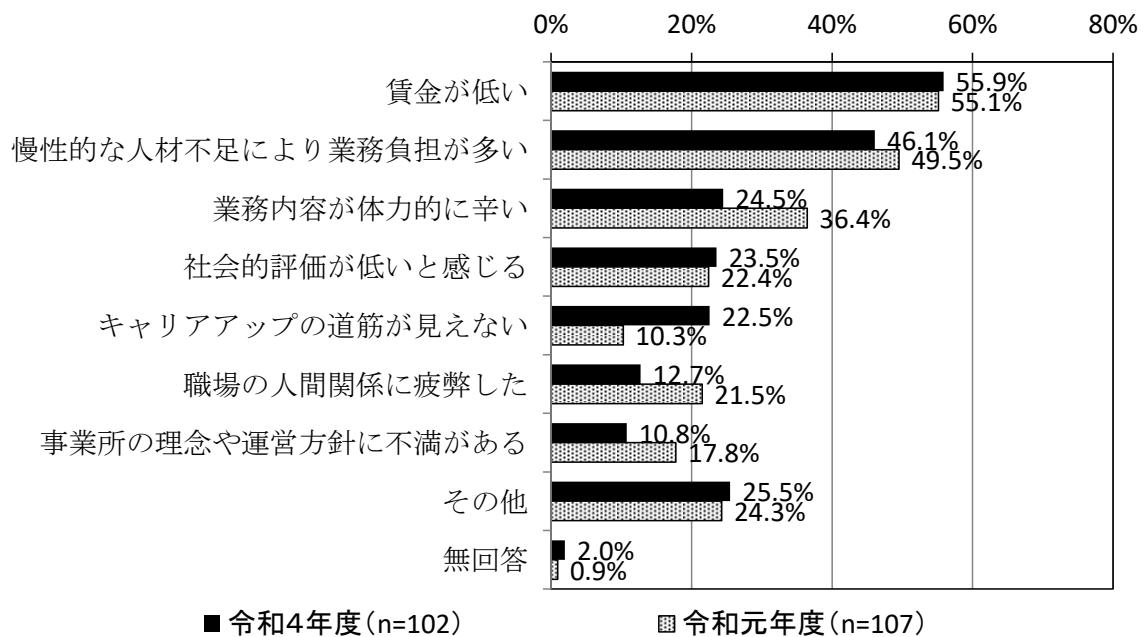
問 12-1 【問 12 で「①武蔵野市で働き続けたい」を選択した方のみ】武蔵野市で働き続ける上で、特にモチベーションの向上につながっていること（最大3つまで○）



「武蔵野市で働き続けたい」と回答した方（715人）に、武蔵野市で働き続ける上で、特にモチベーションの向上につながっていることを尋ねたところ、「職場の人間関係、雰囲気が良い」が50.8%と最も高く、次いで「利用者・家族からの感謝」が48.4%、「事業所の理念や運営方針への共感」が24.5%となっている。

「その他」には、「自宅から近い」「通勤しやすい」等の回答がみられた。

問 12-2 【問 12 で「③介護・障害分野以外の仕事に変わりたい」を選択した方のみ】理由は何ですか。(最大3つまで○)

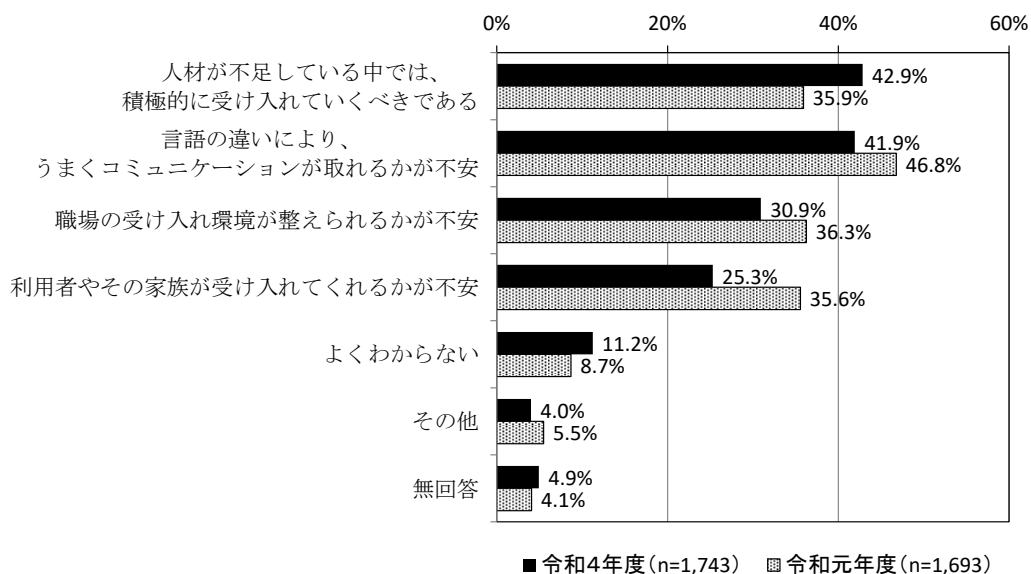


「介護・障害分野以外の仕事に変わりたい」と回答した方（102人）に、介護・障害分野以外の仕事に変わりたい理由を尋ねたところ、「賃金が低い」が55.9%と最も高く、次いで「慢性的な人材不足により業務負担が多い」が46.1%、「業務内容が体力的に辛い」が24.5%となっている。

「その他」には、「他にやりたいことがある」等の回答がみられた。

## 6. 外国人介護職員の受け入れに対する考え

問 13 外国人介護職員の受け入れに対して、どのように考えていますか（最大3つまで○）

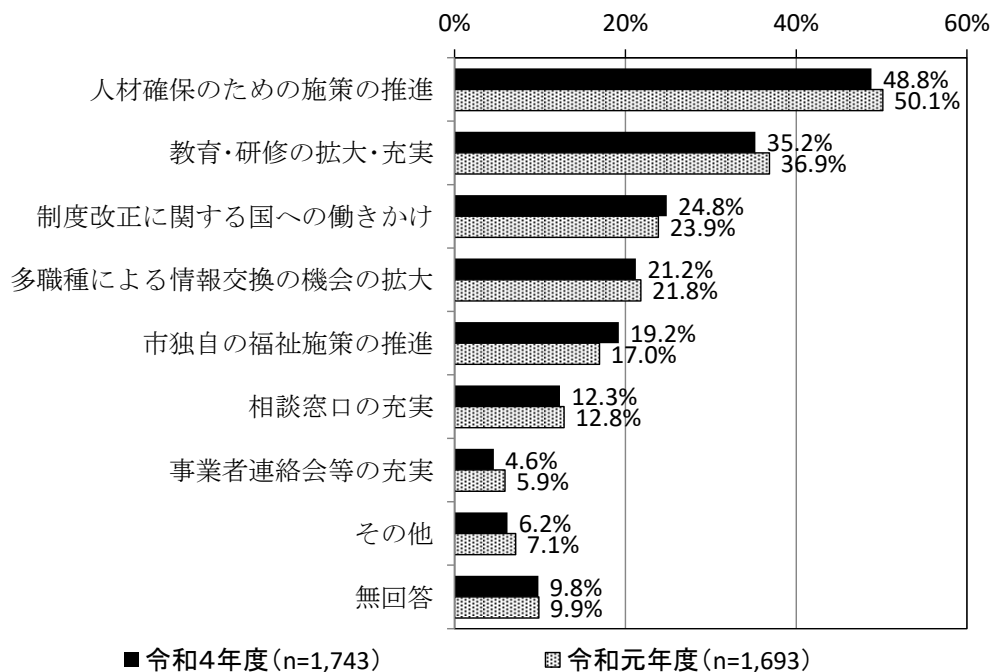


外国人介護職員の受け入れに対しては、「人材が不足している中では、積極的に受け入れていくべきである」が42.9%と最も高く、次いで「言語の違いにより、うまくコミュニケーションが取れるかが不安」が41.9%、「職場の受け入れ環境（文化、宗教等）が整えられるかが不安」が30.9%となっている。

「その他」には、「外国人を受け入れる前に日本人の処遇を改善すべき」等の回答がみられた。

## 7. 武蔵野市で働き続けるために市に求めること

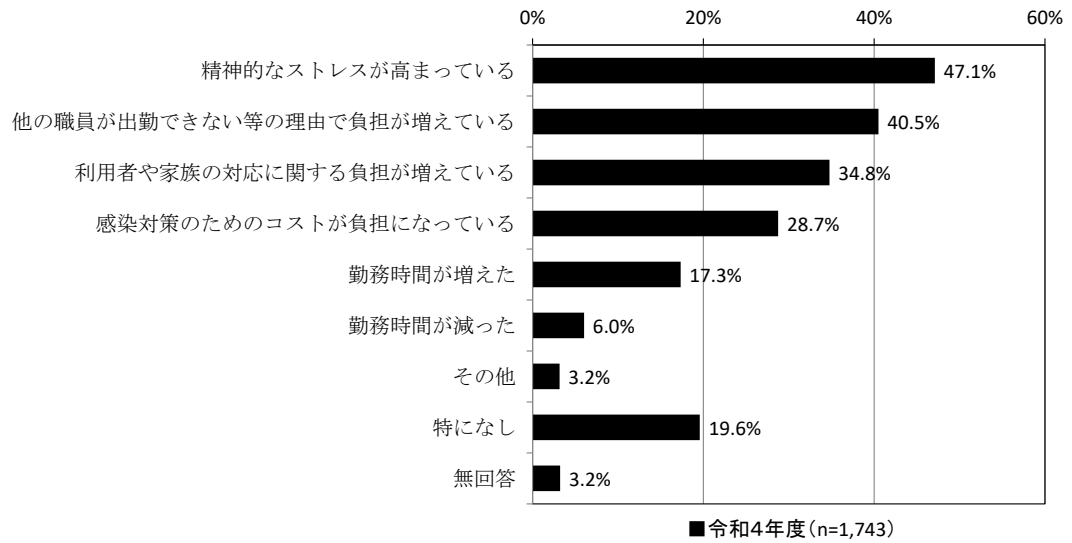
問 14 介護職員・看護職員等が武蔵野市で働き続けるために市に求めること（最大3つまで○）



武蔵野市で働き続けるために市に求めることとして、「人材確保のための施策の推進」が48.8%と最も多く、次いで「教育・研修の拡大・充実」が35.2%、「制度改正に関する国への働きかけ」が24.8%となっている。

「その他」には、「処遇の改善」等の回答がみられた。

問 15 コロナ禍がご自身の業務に与えている影響（すべてに○）



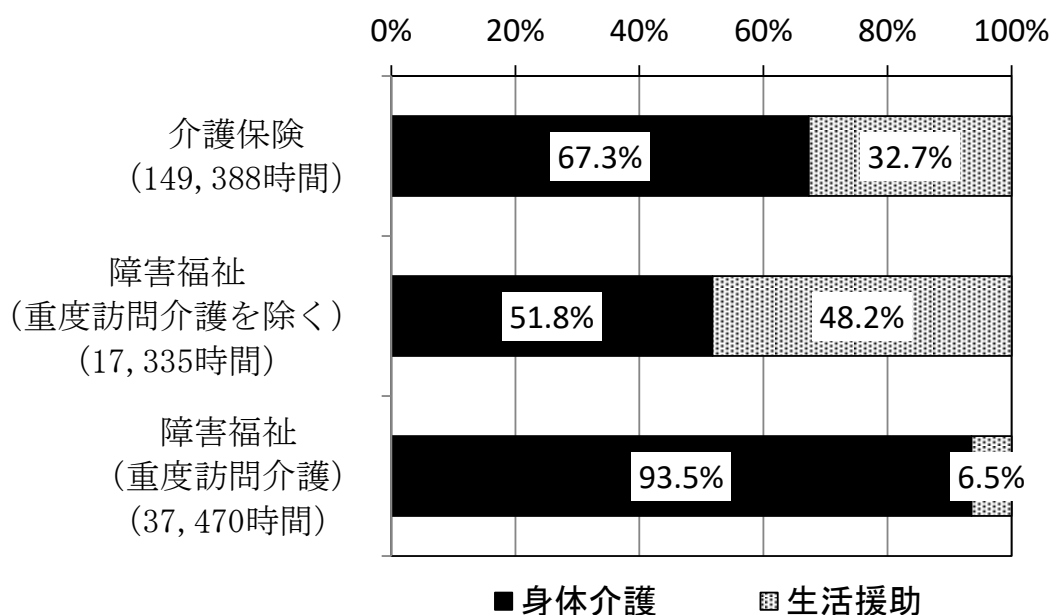
コロナ禍が業務に与えている影響については、「精神的なストレスが高まっている」が47.1%と最も多く、次いで「他の職員が出勤できない等の理由で負担が増えている」が40.5%、「利用者や家族の対応に関する負担が増えている」が34.8%だった。

「その他」には、「活動内容に制限が生じた」、「職員間の親睦を深める機会が減った」等の回答がみられた。

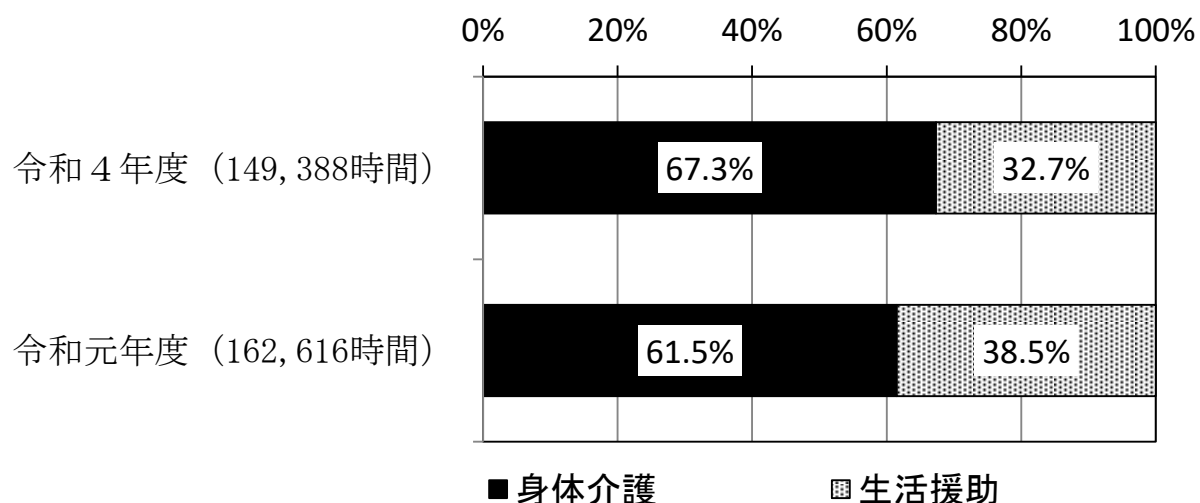
## 8. 1週間の訪問サービスにおける提供時間

問 16 【訪問介護員（※）のみ対象】直近1週間の訪問サービスにおける提供時間の内訳を記入してください。

※問3で、訪問介護、訪問入浴、定期巡回、夜間対応型、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援を選択した方

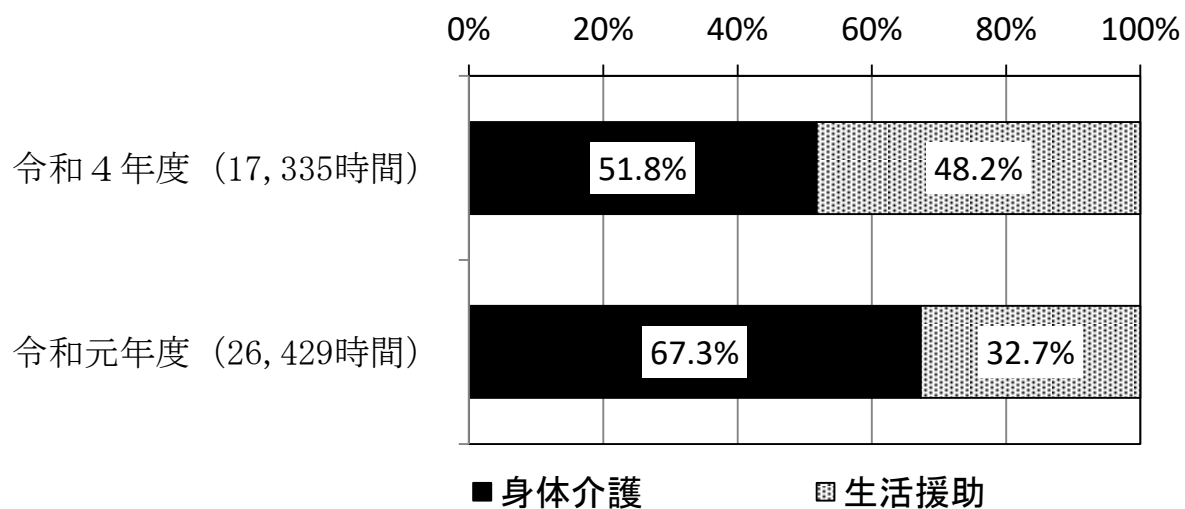


### 《介護保険》



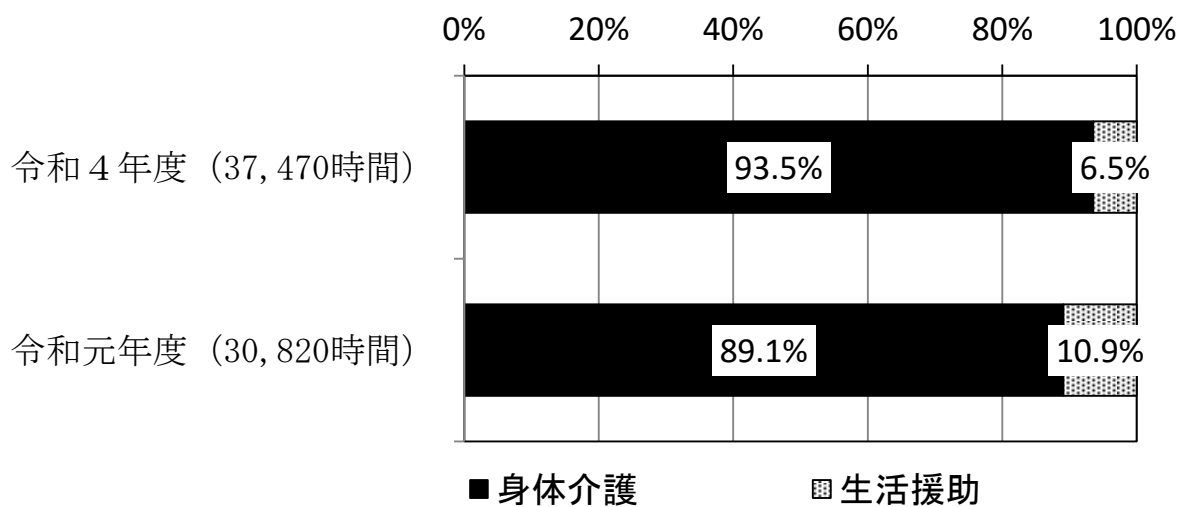
介護保険における直近1週間の訪問サービスの提供時間は、「身体介護」が67.3%、「生活援助」が32.7%となっている。

《障害福祉（重度訪問介護は除く）》



障害福祉（重度訪問介護は除く）における直近1週間の訪問サービスの提供時間は、「身体介護」が51.8%、「生活援助」が48.2%となっている。

《障害福祉（重度訪問介護）》



障害福祉（重度訪問介護）における直近1週間の訪問サービスの提供時間は、「身体介護」が93.5%、「生活援助」が6.5%となっている。



## 第4章 武蔵野市介護施設等における入退所調査結果

### 1. 施設等の概要

問1 貴施設等の概要（定員数など、入所・入居者数、貴施設等の待機者数、特別養護老人ホームの待機者数（申込者数））について、以下にご記入ください。

#### <定員数等>

	回答数（件）	合計	平均値
介護老人福祉施設	9	542	60.2
介護老人保健施設	4	268	67.0
特定施設入居者生活介護	8	489	61.1
認知症対応型共同生活介護	2	36	18.0
看護小規模多機能型居宅介護	1	24	24.0
住宅型有料老人ホーム	3	159	53.0
サービス付き高齢者向け住宅	2	90	45.0
ケアハウス	1	29	29.0

（注）住宅型有料老人ホームには居室数（単位は「室」）、その他の施設等には定員数（単位は「人」）を尋ねた。

定員数等は、介護老人福祉施設が平均 60.2 人、介護老人保健施設が平均 67.0 人、特定施設入居者生活介護が平均 61.1 人だった。

#### <入所利用率・入居率>

	回答数（件）	平均値（%）
介護老人福祉施設	9	95.4
介護老人保健施設	4	85.1
特定施設入居者生活介護	8	79.8
認知症対応型共同生活介護	2	86.1
看護小規模多機能型居宅介護	1	95.8
住宅型有料老人ホーム	3	88.0
サービス付き高齢者向け住宅	2	95.0
ケアハウス	1	82.8

入所利用率・入居率をみると、特定施設入居者生活介護を除くすべてのサービス種別で平均値が 80%を超えていた。

＜自施設等の待機者数（申込者数）＞

	回答数（件）	合計（人）	平均値（人）
介護老人福祉施設	7	2,287	326.7
介護老人保健施設	2	0	0.0
特定施設入居者生活介護	8	5	0.6
認知症対応型共同生活介護	2	12	6.0
看護小規模多機能型居宅介護	1	0	0.0
住宅型有料老人ホーム	3	0	0.0
サービス付き高齢者向け住宅	2	9	4.5
ケアハウス	1	0	0.0

自施設等の待機者数（申込者数）をみると、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）では平均 326.7 人、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）では平均 6.0 人、サービス付き高齢者住宅では平均 4.5 人の待機者（申込者）がいた。

＜特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）＞

	回答数（件）	合計（人）	平均値（人）
介護老人保健施設	1	5	5.0
特定施設入居者生活介護	7	0	0.0
認知症対応型共同生活介護	2	3	1.5
看護小規模多機能型居宅介護	1	0	0.0
住宅型有料老人ホーム	3	1	0.3
サービス付き高齢者向け住宅	2	0	0.0
ケアハウス	1	2	2.0

現在入所・入居している場所別（ただし、介護老人福祉施設を除く）に、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の待機者数（申込者数）をみると、介護老人保健施設で平均 5.0 人、ケアハウスで平均 2.0 人であった。

問2 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。（数値を記入）

<要支援・要介護度別 入所・入居者の人数・割合>

（単位：人）

	合計	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明
全体	1,458 100.0%	74 5.1%	48 3.3%	36 2.5%	185 12.7%	159 10.9%	258 17.7%	398 27.3%	284 19.5%	16 1.1%
介護老人福祉施設	520 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.8%	8 1.5%	102 19.6%	232 44.6%	174 33.5%	0 0.0%
介護老人保健施設	235 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 6.4%	34 14.5%	59 25.1%	79 33.6%	48 20.4%	0 0.0%
特定施設入居者生活介護	382 100.0%	26 6.8%	28 7.3%	22 5.8%	85 22.3%	67 17.5%	55 14.4%	53 13.9%	32 8.4%	14 3.7%
認知症対応型共同生活介護	31 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 22.6%	6 19.4%	8 25.8%	6 19.4%	4 12.9%	0 0.0%
看護小規模多機能型居宅介護	23 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	7 30.4%	6 26.1%	2 8.7%	7 30.4%	0 0.0%
住宅型有料老人ホーム	150 100.0%	17 11.3%	12 8.0%	7 4.7%	40 26.7%	18 12.0%	18 12.0%	20 13.3%	18 12.0%	0 0.0%
サービス付き高齢者向け住宅	93 100.0%	21 22.6%	8 8.6%	6 6.5%	25 26.9%	16 17.2%	9 9.7%	5 5.4%	1 1.1%	2 2.2%
ケアハウス	24 100.0%	10 41.7%	0 0.0%	1 4.2%	8 33.3%	3 12.5%	1 4.2%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%

入所・入居者の要支援・要介護度をみると、要介護度3から要介護度5の割合が多いのは、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」、「介護老人保健施設」の順であった。

## 2. 医療処置を受けている人数

問3 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(数値を記入) ※該当者がいない場合は「0 (ゼロ)」を記入してください。

### <医療処置を受けている人数・割合>

(単位：人)

	合計	点滴の管理	透析	酸素療法	気管切開の処置	経管栄養	褥瘡の処置	喀痰吸引	中心静脈栄養	ストーマの処置	レスピレーター	疼痛の看護	モニター測定	カテーテル	インスリン注射
全体	1,458 100.0%	5 0.3%	5 0.3%	23 1.6%	0 0.0%	35 2.4%	30 2.1%	42 2.9%	0 0.0%	10 0.7%	1 0.1%	7 0.5%	1 0.1%	23 1.6%	14 1.0%
介護老人福祉施設	520 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.8%	0 0.0%	14 2.7%	6 1.2%	16 3.1%	0 0.0%	4 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 1.7%	2 0.4%
介護老人保健施設	235 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%	0 0.0%	10 4.3%	11 4.7%	16 6.8%	0 0.0%	4 1.7%	1 0.4%	3 1.3%	1 0.4%	7 3.0%	5 2.1%
特定施設入居者生活介護	382 100.0%	3 0.8%	2 0.5%	13 3.4%	0 0.0%	10 2.6%	10 2.6%	9 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.5%	0 0.0%	3 0.8%	4 1.0%
認知症対応型共同生活介護	31 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護小規模多機能型居宅介護	23 100.0%	2 8.7%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	1 4.3%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
住宅型有料老人ホーム	150 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.7%	2 1.3%
サービス付き高齢者向け住宅	93 100.0%	0 0.0%	1 1.1%	2 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ケアハウス	24 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%

医療処置を受けている人数・割合は、「喀痰吸引」が2.9% (42人)、「経管栄養」が2.4% (35人) だった。

### 3. 過去2年間の入所・入居者数

問4 過去2年間（令和2年10月1日～令和4年9月30日）に、新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

#### <過去2年間の入所・入居者数>

	回答数（件）	合計（人）	平均値（人）
全体	30	1,282	42.7
介護老人福祉施設	9	323	35.9
介護老人保健施設	4	674	168.5
特定施設入居者生活介護	8	127	15.9
認知症対応型共同生活介護	2	15	7.5
看護小規模多機能型居宅介護	1	36	36.0
住宅型有料老人ホーム	3	52	17.3
サービス付き高齢者向け住宅	2	49	24.5
ケアハウス	1	6	6.0

（注1）介護老人保健施設、看護小規模多機能型居宅介護については、利用期間に制限がある。

（注2）看護小規模多機能型居宅介護については、利用登録者数を示している。

過去2年間の入所・入居者数は、介護老人保健施設が平均168.5人だった。

問5 問4の過去2年間の新規の入所・入居者について、入所・入居前の居場所別人数をご記入ください。

＜入所・入居前の居場所別 過去2年間の新規入所・入居者数＞

(単位：人)

		自宅	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設	看護小規模多機能型居宅介護	療養型・介護医療院	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他	把握していない	合計
全体	市内	364	4	0	1	7	10	0	101	2	15	11	0	201	61	1,282
	市外	189	5	1	1	1	6	0	76	0	5	10	1	210		
介護老人福祉施設	市内	95	4	0	1	7	4	0	84	2	15	10	0	26	18	323
	市外	8	2	1	0	1	1	0	27	0	5	6	0	6		
介護老人保健施設	市内	155	0	0	0	0	6	0	13	0	0	1	0	156	0	674
	市外	88	0	0	0	0	4	0	45	0	0	3	0	203		
特定施設入居者生活介護	市内	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	127
	市外	61	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1		
認知症対応型共同生活介護	市内	12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	15
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
看護小規模多機能型居宅介護	市内	16	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	16	0	36
	市外	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
住宅型有料老人ホーム	市内	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52
	市外	31	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0		
サービス付き高齢者住宅	市内	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	43	49
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ケアハウス	市内	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

過去2年間の新規入所・入居者数を入所・入居前の居場所別にみると、「介護老人福祉施設」では、323人のうち「介護老人保健施設」が111人（市内84人、市外27人）、「自宅」が103人（市内95人、市外8人）だった。

#### 4. 過去2年間の退所・退居者数

問6 過去2年間（令和2年10月1日から令和4年9月30日まで）に、貴施設等を退去した人数をご記入ください。

##### <過去2年間の退所・退居者数>

	回答数（件）	合計（人）	平均値（人）
全体	30	1,184	39.5
介護老人福祉施設	9	307	34.1
介護老人保健施設	4	537	134.3
特定施設入居者生活介護	8	192	24.0
認知症対応型共同生活介護	2	23	11.5
看護小規模多機能型居宅介護	1	29	29.0
住宅型有料老人ホーム	3	41	13.7
サービス付き高齢者向け住宅	2	50	25.0
ケアハウス	1	5	5.0

（注1）介護老人保健施設、看護小規模多機能型居宅介護については、利用期間に制限がある。

（注2）死亡・搬送先での死亡を含む。

過去2年間の退所・退居者数は、介護老人保健施設で平均134.3人であった。

問7 問6で記入いただいた過去2年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

＜要介護度別 退所・退居者の人数・割合＞

(単位：人)

	合計	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	新規申請中	死亡
全体	1,106 100.0%	12 1.1%	10 0.9%	2 0.2%	56 5.1%	113 10.2%	161 14.6%	203 18.4%	151 13.7%	2 0.2%	396 35.8%
介護老人福祉施設	263 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 3.0%	27 10.3%	42 16.0%	0 0.0%	186 70.7%
介護老人保健施設	537 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	34 6.3%	91 16.9%	133 24.8%	156 29.1%	86 16.0%	0 0.0%	37 6.9%
特定施設入居者生活介護	169 100.0%	3 1.8%	4 2.4%	1 0.6%	11 6.5%	8 4.7%	9 5.3%	10 5.9%	11 6.5%	0 0.0%	112 66.3%
認知症対応型共同生活介護	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	1 8.3%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	6 50.0%
看護小規模多機能型居宅介護	29 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.9%	3 10.3%	0 0.0%	6 20.7%	0 0.0%	18 62.1%
住宅型有料老人ホーム	41 100.0%	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%	2 4.9%	2 4.9%	2 4.9%	2 4.9%	2 4.9%	0 0.0%	29 70.7%
サービス付き高齢者住宅	50 100.0%	8 16.0%	5 10.0%	1 2.0%	7 14.0%	7 14.0%	5 10.0%	4 8.0%	3 6.0%	2 4.0%	8 16.0%
ケアハウス	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(注) 回答のあった施設等を集計対象とした。

退所・退居者数(回答のあった施設等の合計値)を要支援・要介護度に見ると、要介護度3から要介護度5の割合が最も高いのは「介護老人保健施設」で69.8%(537人中375人)だった。



問8 問6で記入いただいた過去2年間の退居者について、退去先別の人数をご記入ください。

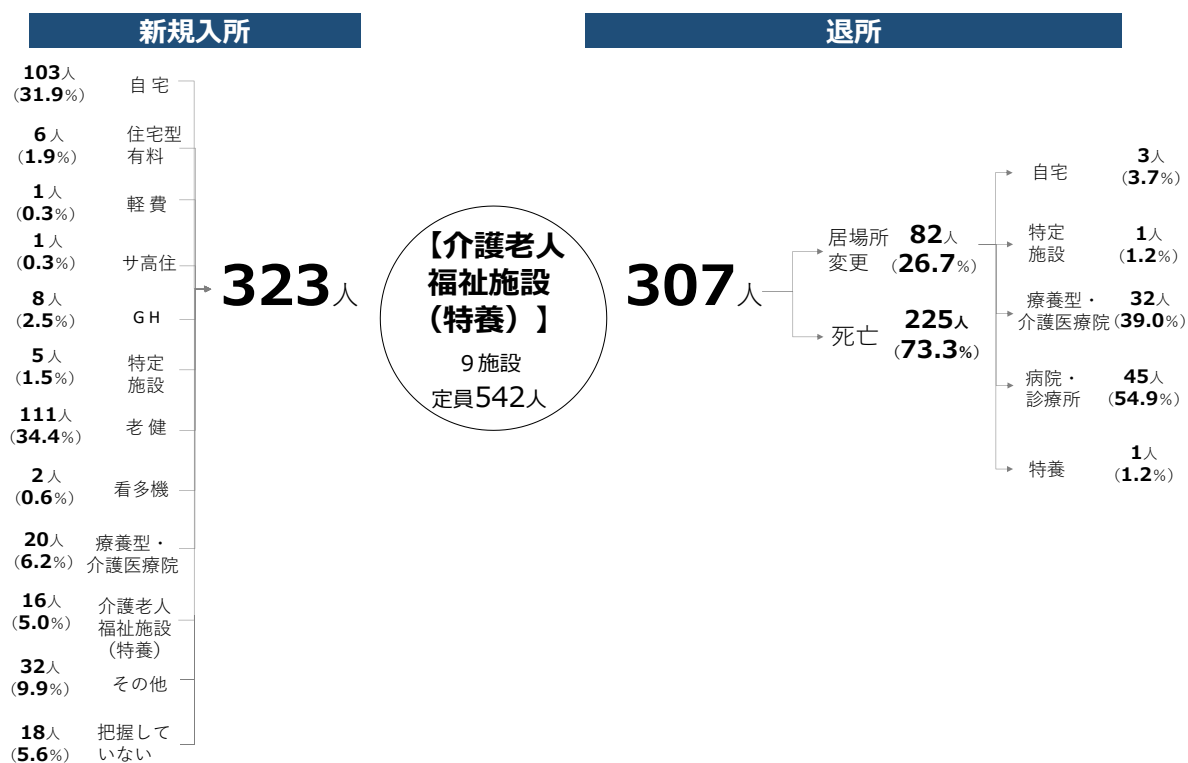
＜退去先別 過去2年間の退所・退居者数＞

(単位：人)

		自宅	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設	看護小規模多機能型居宅介護	療養型・介護医療院	療養型・介護医療院を除く病院・診療所	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他	把握していない・不明	死亡	合計
全体	市内	141	15	0	5	3	12	0	16	0	22	57	59	0	35	41	482	1,174
	市外	70	17	0	3	1	11	0	23	0	16	40	55	0	50			
介護老人福祉施設	市内	2	0	0	0	0	0	0	0	0	21	40	0	0	0	0	225	307
	市外	1	0	0	0	0	1	0	0	0	11	5	1	0	0			
介護老人保健施設	市内	135	13	0	4	1	10	0	15	0	0	9	41	0	35	0	48	537
	市外	59	12	0	2	0	2	0	23	0	0	27	51	0	50			
特定施設入居者生活介護	市内	2	0	0	1	0	2	0	1	0	1	2	0	0	0	8	152	192
	市外	7	0	0	0	0	7	0	0	0	4	5	0	0	0			
認知症対応型共同生活介護	市内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11	0	0	0	7	23
	市外	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0			
看護小規模多機能型居宅介護	市内	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	18	29
	市外	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
住宅型有料老人ホーム	市内	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	41
	市外	1	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0			
サービス付き高齢者住宅	市内	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	2	0	0	34	8	50
	市外	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ケアハウス	市内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	市外	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0			

過去2年間の退所・退居者数を退去先別にみると、「介護老人福祉施設」では、307人のうち、「死亡」が225人であった。「介護老人保健施設」では、537人のうち、「自宅」が194人（市内135人、市外59人）であった。

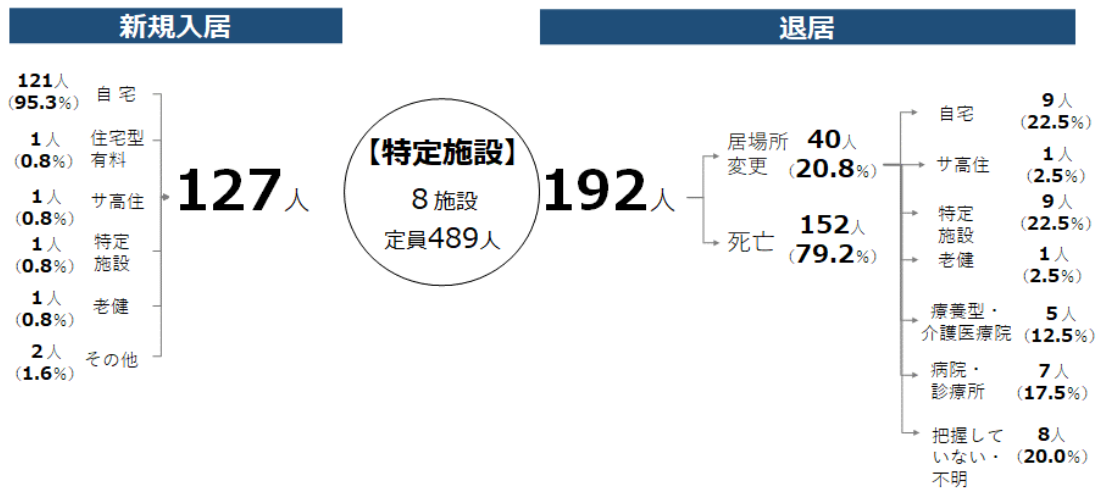
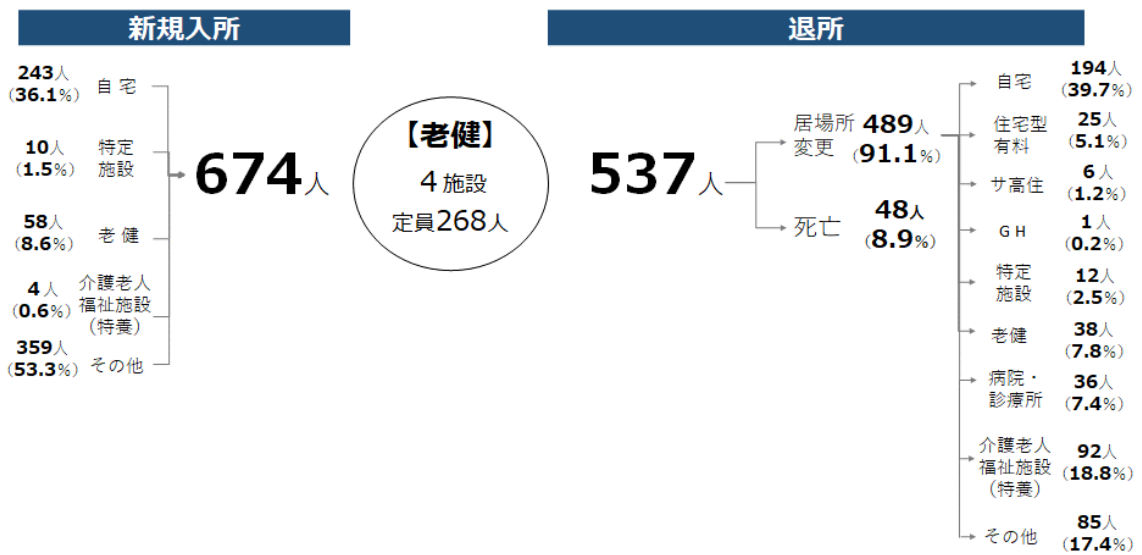
## 5. 過去2年間の入所・入居及び退所・退居の流れ



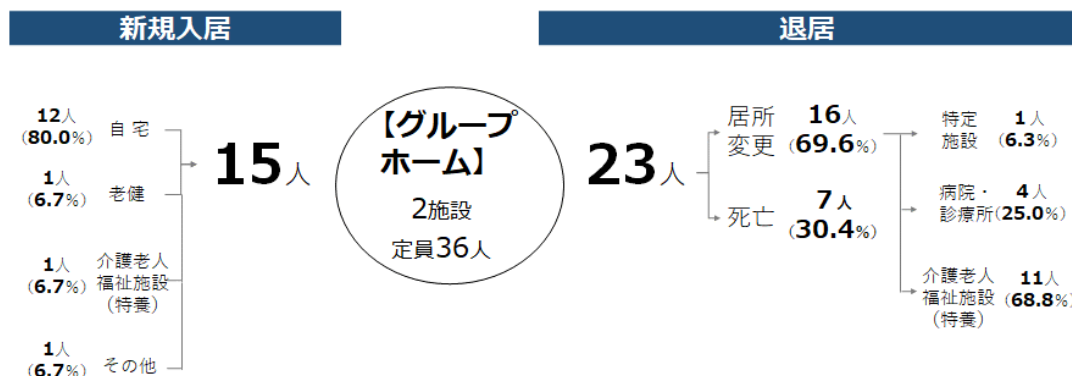
(注1) 「定員」は問1、「新規入所」は問5、「退所」は問8の値を用いている。(以下同様)

(注2) 退所先別の割合は、居場所を変更した方に対する割合を示している。(以下同様)

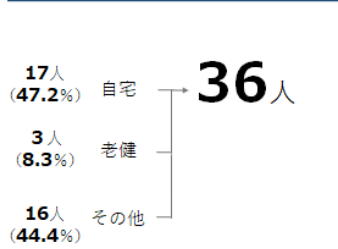
介護老人福祉施設における過去2年間の入所及び退所の流れをみると、新規入所者は323人だった。退所者は307人で、そのうち「死亡」による退所は225人(73.3%)だった。居場所を変更した82人(26.7%)のうち、「病院・診療所」への変更が45人(54.9%)だった。



過去2年間に「特定施設入居者生活介護」8施設から退居した人数は192人だった。そのうち、死亡者は79.2%の152人だった。また、居場所を変更した方の行先で最も多いのは「自宅」、「特定施設入居者生活介護」だった。

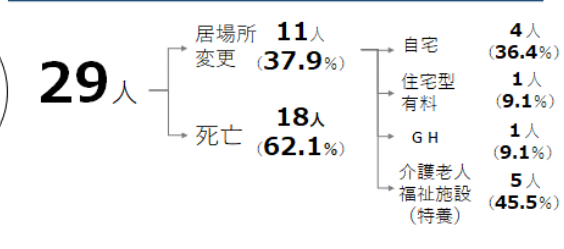


**新規入居**

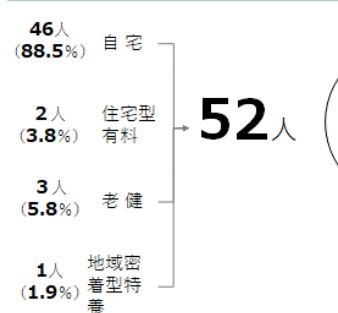


**【看多機】**  
1施設  
24人

**退居**

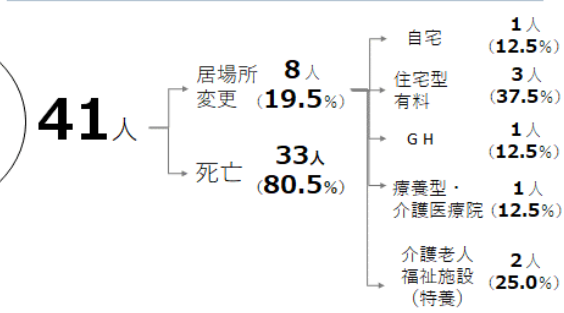


**新規入居**

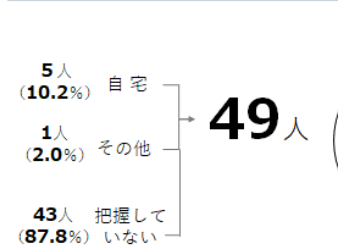


**【住宅型有料】**  
3施設  
159室

**退居**

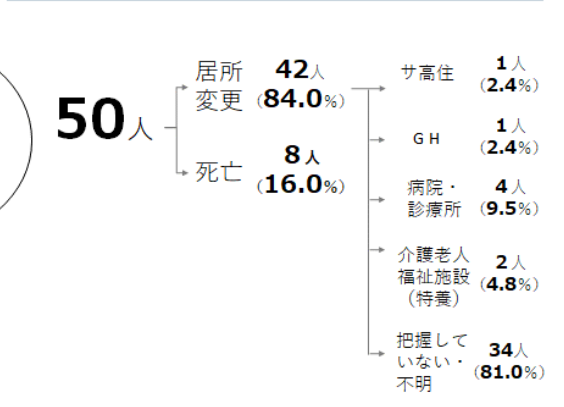


**新規入居**



**【サ高住】**  
2施設  
定員90戸・室

**退居**

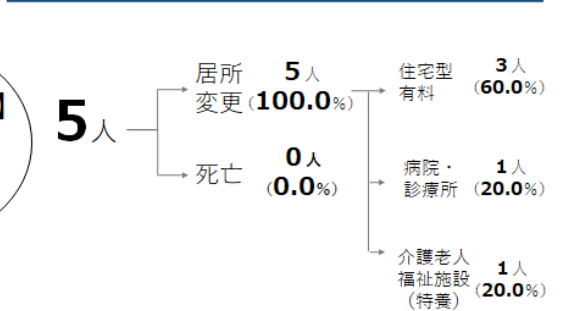


**新規入居**



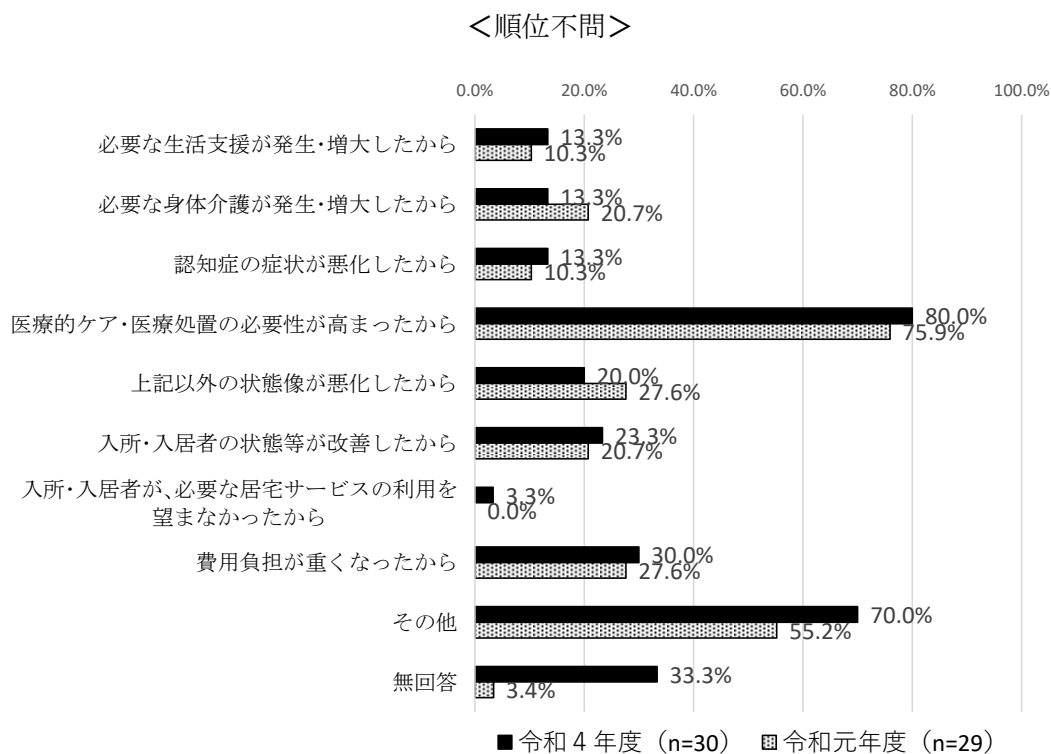
**【ケアハウス】**  
1施設  
定員29人

**退居**



## 6. 入居・入所者の退去理由

問9 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する□に✓を付けてください



入居・入所者が退去する理由は、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が80.0%と最も高かった。

### ＜1位～3位＞

	1位		2位		3位	
	回答数 (件)	%	回答数 (件)	%	回答数 (件)	%
必要な生活支援が発生・増大したから	0	0.0	0	0.0	4	13.3
必要な身体介護が発生・増大したから	4	13.3	0	0.0	0	0.0
認知症の症状が悪化したから	0	0.0	3	10.0	1	3.3
医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	7	23.3	15	50.0	2	6.7
上記以外の状態像が悪化したから	3	10.0	2	6.7	1	3.3
入所・入居者の状態等が改善したから	3	10.0	0	0.0	4	13.3
入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	0	0.0	1	3.3	0	0.0
費用負担が重くなったから	0	0.0	3	10.0	6	20.0
その他	12	40.0	3	10.0	6	20.0
無回答	1	3.3	3	10.0	6	20.0
全体	30	100.0	30	100.0	30	100.0

＜サービス種別 入居・入所者の退去理由（順位不問）（単位：件）＞

	合計	必要な生活支援が発生・増大したから	必要な身体介護が発生・増大したから	認知症の症状が悪化したから	医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	左記以外の状態像が悪化したから	入所・入居者の状態等が改善したから	入所・入居者が必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	費用負担が重くなったから	その他	無回答
全体	30	4	4	4	24	6	7	1	9	21	10
介護老人福祉施設	9	0	0	1	9	3	1	0	1	7	5
介護老人保健施設	4	2	0	0	4	1	4	0	0	1	0
特定施設入居者生活介護	8	0	0	1	6	1	1	0	4	9	2
認知症対応型共同生活介護	2	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
看護小規模多機能型居宅介護	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
住宅型有料老人ホーム	3	0	0	0	3	0	1	0	2	3	0
サービス付き高齢者住宅	2	1	2	1	1	0	0	0	1	0	0
ケアハウス	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0

## **資料：使用した調査票**

施設長・管理者様

## 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査 ご協力のお願い

日頃から、武蔵野市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、令和5年度に高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画、障害者計画・第7期障害福祉計画の策定を予定しています。

この調査は、今後の武蔵野市における人材の確保・育成に係る具体的な方策を、各計画に盛り込むための基礎データを得るために実施するものです。

業務ご多忙の折、誠に恐れ入りますが、武蔵野市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所の施設長・管理者の方、また、貴施設・事業所に所属する全ての介護職員、看護職員、リハビリテーション職員（以下「介護職員・看護職員等」という。）の方に、アンケートの回答にご協力をお願いしたく存じます。

同封いたしました「事業所票」は施設長・管理者の方にご回答いただき、「職員票」は、貴施設・事業所に所属する全ての介護職員・看護職員等の方への配付・回収をお願いいたします。

皆様にご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。本調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

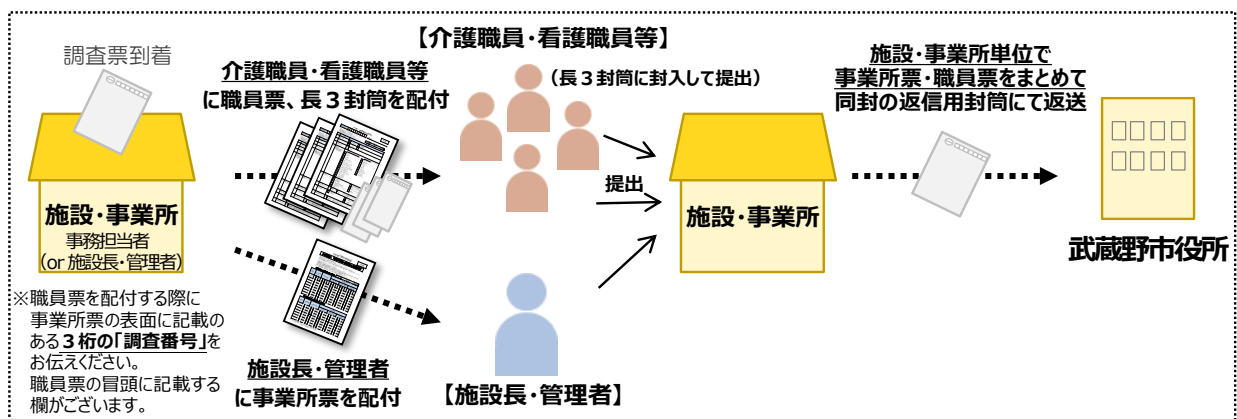
令和4年11月

武蔵野市長 **松下 玲子**

### アンケートの配付、および返送の手順について

- ① 本調査は「事業所票」と「職員票」の2つで構成されています。「事業所票」は施設長・管理者の方にご回答ください。「職員票」は、貴施設・事業所に所属する全ての介護職員・看護職員等の方に配付するとともに、回答済み調査票の回収をお願いいたします。
- ② ご回答済みのアンケートは、施設・事業所単位でまとめていただき、同封の返信用封筒にて **令和4年12月16日(金)**までに、武蔵野市役所までご返送いただければと存じます。

※職員票が余りましたらお手数ですが破棄してください。また、枚数に不足があった場合は、恐れ入りますが人数分コピーいただけますと幸いです。



#### お問い合わせ先

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課 増田・菊池 電話：0422-60-1925 (直通)  
障害者福祉課 淵上・鈴木 電話：0422-60-1904 (直通)



施設長・管理者様

## 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査 武蔵野市介護施設等における入退所調査 ご協力のお願い

日頃から、武蔵野市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、令和5年度に高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定を予定しています。

この調査は、今後の武蔵野市における人材の確保・育成や、高齢者が暮らし慣れた住まいで最後まで生活を継続する上で必要な機能に係る具体的な方策等を、各計画に盛り込むための基礎データを得るために実施するものです。

業務ご多忙の折、誠に恐れ入りますが、武蔵野市内で介護サービスを提供している施設・事業所の施設長・管理者の方、また、貴施設・事業所に所属する全ての介護職員、看護職員、リハビリテーション職員（以下「介護職員・看護職員等」という。）の方に、アンケートの回答にご協力をお願いいたく存じます。

同封いたしました「介護職員・看護職員等実態調査 事業所票」（以下「事業所票」という。）及び「介護施設等における入退所調査」（以下「入退所調査」という。）は施設長・管理者の方にご回答いただき、「介護職員・看護職員等実態調査 職員票」（以下「職員票」という。）は、貴施設・事業所に所属する全ての介護職員・看護職員等の方への配付・回収をお願いいたします。

皆様にご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。本調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

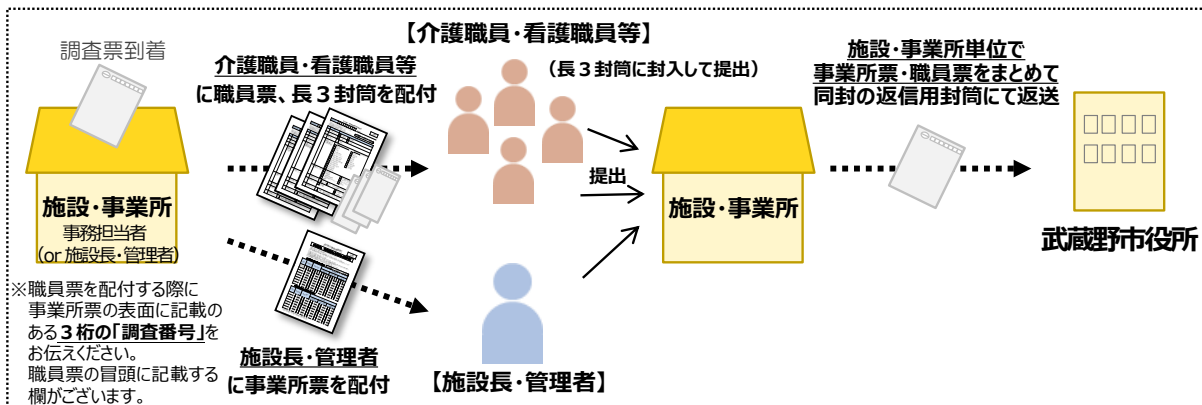
令和4年11月

武蔵野市長 **松下 玲子**

### アンケートの配付、および返送の手順について

- ③ 本調査は「事業所票」、「入退所調査」、「職員票」の3つで構成されています。「事業所票」及び「入退所調査」は施設長・管理者の方がご回答ください。「職員票」は、貴施設・事業所に所属する全ての介護職員・看護職員等の方に配付するとともに、回答済み調査票の回収をお願いいたします。
- ④ ご回答済みのアンケートは、施設・事業所単位でまとめていただき、同封の返信用封筒にて **令和4年12月16日(金)**までに、武蔵野市役所までご返送いただければと存じます。

※職員票が余りましたお手数ですが破棄してください。また、枚数に不足があった場合は、恐れ入りますが人数分コピーいただけますと幸いです。



#### お問い合わせ先

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課 増田・菊池 電話：0422-60-1925（直通）

〒\*\*\*-\*\*\*\*

武蔵野市〇〇\*-\*-\*

〇〇事業所 管理者様

### 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査【事業所票】

本調査票は、 **※事業種別名称※** に所属する職員について  
ご回答ください

※本調査は、施設・サービス事業所の施設長・管理者を対象とした調査です。  
※本調査における「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）  
※本調査における「正規職員」とは、期間の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期間の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

■職員票の冒頭に記載する番号

※職員票を配付する際にお伝えください

999

問1 介護職員・看護職員・リハビリテーション職員の総数を実人数でお答えください。

(令和4年10月1日現在) ※数値を記入、いない場合は「0」と記入

	正規職員		非正規職員	
介護職員		人		人
看護職員		人		人
リハ職員		人		人

問2 貴施設・事業所はこの調査票を受け取った時点で、開設から1年以上経過していますか。

※あてはまるもの1つに「○」

① はい      ② いいえ      → 「② いいえ」と答えた方は問4へ  
↓ 「① はい」と答えた方は問3へ

問3 過去1年間（令和3年10月1日～令和4年9月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を年齢別に実人数でお答えください。 ※数値を記入、該当者がいない場合は「0」と記入

年齢 (採用、離職当時)	採用者数 (人事異動・配置転換・研修等は除く)		離職者数 (人事異動・配置転換・研修等は除く)	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満		人		人
20歳～29歳		人		人
30歳～39歳		人		人
40歳～49歳		人		人
50歳～59歳		人		人
60歳～69歳		人		人
70歳以上		人		人
年齢不明		人		人

問4 貴施設・事業所で配置している職員の充足感についてお答えください。 ※あてはまるもの1つに「○」

	介護職	看護職	サ責	計画作成	リハ
①充足している	1	1	1	1	1
②やや充足している	2	2	2	2	2
③やや不足している	3	3	3	3	3
④不足している	4	4	4	4	4
⑤該当職配置無し	5	5	5	5	5

裏面に続きます。

問5 介護職員の確保に向けて実施している取組みについてお答えください。※あてはまるものすべてに「○」

- |   |   |
|---|---|
| ① | ホームページやSNS、パンフレット、チラシ等で施設・事業所の特徴を発信している |
| ② | インターンシップや職場体験、施設・事業所見学会を実施している          |
| ③ | 大学や高校、介護福祉士養成校等に訪問して施設・事業所の説明会等を行っている   |
| ④ | 過去に勤務していた職員に対して再就職の働きかけを行っている           |
| ⑤ | 勤務時間帯や勤務時間等の希望（時短勤務等）を聞き入れるようにしている      |
| ⑥ | 新人介護職員を対象としたエルダー・メンター制度を導入している          |
| ⑦ | 介護ロボットの活用やICT活用等により、職員の負担軽減を行っている       |
| ⑧ | その他（<br>）                               |
| ⑨ | 特に実施していることはない                           |

問6 介護職員の確保に関して市に求める支援についてお答えください。※あてはまるものすべてに「○」

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| ① | 大学や高校、介護福祉士養成校等の生徒を対象とした介護や介護の仕事の理解促進 |
| ② | 地域住民を対象とした介護や介護の仕事の理解促進               |
| ③ | 多様な人材層(若者・女性・高齢者等)のマッチング支援            |
| ④ | 外国人介護職員の受入れにかかる支援                     |
| ⑤ | 介護職・看護職Reスタート支援金等、支援金事業の継続・拡充         |
| ⑥ | 研修事業の拡充                               |
| ⑦ | 介護職員の悩み相談                             |
| ⑧ | 介護職員を対象とした交流、学び合いの場づくりの支援             |
| ⑨ | その他（<br>）                             |
| ⑩ | 特にない                                  |

問7 現在、外国人介護職員（日本語が母語でない外国人）を受け入れていますか。※あてはまるもの1つに「○」

- |   |          |   |                 |
|---|----------|---|-----------------|
| ① | 受け入れている  | → | 人               |
| ② | 受け入れていない |   | 受け入れている場合は人数を記入 |

問8 外国人介護職員の受入れにおいて課題と感じることは何ですか。※あてはまるものすべてに「○」

- |   |  |   |                     |
|---|--|---|---------------------|
| ① | 利用者や家族とのコミュニケーション<br>（ケアの説明や同意の取得、雑談等）<br>日本語を聞く能力 | ⑪ | 職場への定着、勤務継続         |
| ② | （引継ぎ、申し送りの理解等）<br>日本語を読む能力                         | ⑫ | メンタルヘルスの不調（ホームシック等） |
| ③ | （介護記録など、業務上の文書を読む能力）<br>日本語の書く能力                   | ⑬ | プライベートにおけるトラブル      |
| ④ | （介護記録など、業務上の文書を書く能力等）                              | ⑭ | 受け入れる際に必要な事務手続き     |
| ⑤ | 文化・風習への配慮  | ⑮ | 受入れにかかる費用           |
| ⑥ | 信仰上の配慮   | ⑯ | 関係機関との連携            |
| ⑦ | 食生活への配慮  | ⑰ | その他（<br>）           |
| ⑧ | 仕事に対する姿勢（遅刻、無断欠勤等）                                 | ⑱ | わからない               |
| ⑨ | 組織への順応性・協調性  | ⑲ | 特にない                |
| ⑩ | 介護技術の水準  |   |                     |

問9 コロナ禍において業務に影響が生じていることについてお答えください。※あてはまるものすべてに「○」

- |   |                              |
|---|------------------------------|
| ① | 利用者のサービス利用が減っている             |
| ② | 利用者のサービス利用が増えている             |
| ③ | 利用者や家族からの苦情が増えている            |
| ④ | 職員の確保が難しくなっている               |
| ⑤ | 職員のストレスが高まっている               |
| ⑥ | 感染対策のためのコスト（費用、時間等）が負担になっている |
| ⑦ | その他（<br>）                    |
| ⑧ | 特にない                         |

「武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査」は以上となります。

## 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査【職員票】

- ・本調査票は、介護職員・訪問介護員・看護職員・リハビリテーション職員の方（ボランティアの方を除く）が対象です。
- ・問2・6・8・9-3・16は数字を記入、その他はそれぞれ当てはまるものに「○」をしてください。※令和4年10月1日現在について
- ・**12月16日（金）**までに施設・事業所ごとにまとめてご返送ください。
- ・本調査票は、職員の方おひとりにつき1枚ご回答ください。複数の事業所で働いている方は、いずれかの事業所のみでお答えください。

事業所票に記載のある 3ケタの調査番号				
問1	性別（1つに○）	① 男性	② 女性	③ その他
問2	年齢（数字を記入） ※令和4年10月1日現在		歳	
問3	所属 (複数選択可) ※兼務先を含む	<b>(1)介護保険法に定められたサービス</b> ① 訪問介護（要介護1～5の方を対象） ② 訪問型サービス（総合事業） ③ 訪問入浴 ④ 訪問リハビリテーション ⑤ 訪問看護 ⑥ 通所介護（要介護1～5の方を対象） ⑦ 通所型サービス（総合事業） ⑧ 地域密着型通所介護 ⑨ 通所リハビリテーション（デイケア） ⑩ 短期入所生活介護（ショートステイ） ⑪ 短期入所療養介護（ショートステイ） ⑫ 特定施設入居者生活介護（特定施設） ⑬ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（定期巡回サービス） ⑭ 夜間対応型訪問介護（夜間対応型） ⑮ 看護小規模多機能型居宅介護（看多機） ⑯ 認知症対応型通所介護（認知症デイ） ⑰ 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）		
		<b>(1)介護保険法に定められたサービス</b> ⑱ 介護老人福祉施設（特養） ⑲ 介護老人保健施設（老健）		
		<b>(2)障害者(児)を対象としたサービス</b> ① 居宅介護、 重度訪問介護 ② 同行援護 ③ 行動援護 ④ 移動支援 ⑤ 訪問看護 ⑥ 生活介護 ⑦ 短期入所 ⑧ 共同生活援助 ⑨ 施設入所支援 ⑩ 就労移行支援 ⑪ 就労継続支援A型 ⑫ 就労継続支援B型 ⑬ 児童発達支援、 放課後等デイ ⑭ 日中一時支援		
		<b>(3)その他のサービス</b> ① サービス付き高齢者向け住宅*（サ高住） ② 住宅型有料老人ホーム（住宅型有料） ③ 軽費老人ホーム*		
		※特定施設を除く		
問4	問3(1)(3)のサービスから1つ以上選択した方に伺います。主な職種1つに○してください。	<b>(1)問3で、介護保険法に定められたサービス、その他のサービスから選択した方(○は1つ)</b> ① 介護職員    ② 看護職員    ③ サービス提供責任者    ④ 計画作成責任者    ⑤ リハビリテーション職員*    ⑥ 施設長、管理者 <small>※理学療法士、作業療法士等（機能訓練指導員含む）</small>		
	問3(2)のサービスから1つ以上選択した方に伺います。主な職種1つに○してください。	<b>(2)問3で、障害者(児)を対象としたサービスから選択した方(○は1つ)</b> ① 介護職員    ③ 生活支援員    ⑤ リハビリテーション職員*    ⑦ サービス管理責任者    ⑨ 児童発達管理責任者    ⑩ 管理者 ② 看護職員    ④ 就労支援員、 職業指導員    ⑥ サービス提供責任者    ⑧ 指導員    ※理学療法士、作業療法士等 <small>（機能訓練指導員含む）</small>		
問5	保有資格（複数選択可）	① 介護福祉士    ⑦ 認知症ケアヘルパー    ⑬ 理学療法士    ⑲ 精神保健福祉士 ② 実務者研修修了、 介護職員初任者研修修了    ⑧ 武蔵野市認定ヘルパー    ⑭ 作業療法士    ⑳ 保育士 ③ 居宅介護従事者養成研修修了    ⑨ 介護支援専門員    ⑮ 言語聴覚士    ㉑ 幼稚園、 学校教諭 ④ 同行援護従事者養成研修修了    ⑩ 助産師    ⑯ 保健師    ㉒ その他 ⑤ 行動援護従事者養成研修修了    ⑪ 看護師    ⑰ 心理士    ㉓ 資格なし ⑥ 重度訪問介護従事者 養成研修修了    ⑫ 准看護師    ⑱ 社会福祉士		
問6	経験年数 ※介護・福祉関係の仕事に 現業として従事したトータル		年	
			月	
		うち、武蔵野市内での経験年数		
			年	
			月	
問7	雇用形態（1つに○）	① 正規職員	② 契約社員、嘱託、 パート、アルバイト	③ 派遣職員    ④ その他（雇用契約外の職員）
問8	勤務時間（直近1週間分） ※兼務先の勤務時間含む			
問9	転職経験（1つに○）	① あり	② なし ⇒ 問10へ	
問9-1	問9で「①あり」を選択した方に伺います。 現在の1つ前の勤務先 (1つに○)	① 介護以外の勤務先	⑤ 小多機、看多機	問9-2 現在の1つ前の勤務先の所在 ① 武蔵野市内 ② 武蔵野市外
		② 特養、老健、療養型、介護医療院	⑥ デイサービス、デイケア	問9-3 問9で①と答えた方に伺います。 転職したのは何年前ですか 年 月
		③ ショートステイ、グループホーム、特定施設	⑦ サ高住*、住宅型有料、軽費老人ホーム*※特定施設	
		④ 訪問介護、訪問入浴、夜間対応型、定期巡回サービス	⑧ その他の介護サービス	

【裏面もごさいます】

問10	地域包括ケア人材育成センターの活用状況 (複数選択可)	① 初任者研修、武蔵野市認定ヘルパー養成研修、認定ヘルパーフォローアップ研修の受講 ② 技術研修、認知症支援研修、潜在的有資格者復帰研修の受講 ③ 介護従事者の悩み相談室の利用 ④ お仕事フェア、就職相談会への参加 ⑤ 管理者・経営者向け研修の受講	⑥ プロジェクト若ば ⑦ 地域包括ケア人材育成センターの存在は知っているが、特に活用したことはない ⑧ 地域包括ケア人材育成センターの存在を知らない ⑨ その他 ( )
問11	地域包括ケア人材育成センターに求めること (複数選択可) ※③を選択した方は「スキルアップ研修」の具体的な内容もご記入ください	① 初任者研修の開催回数の増加 ② 喀痰吸引等研修の実施 ③ スキルアップ研修開催の増加 (研修内容を具体的に: ) ④ 市内に所在する施設・事業所の見学会の実施 ⑤ 制度や報酬等に関する解説等のホームページへの掲載	⑥ 制度や報酬等に関する解説等のホームページへの掲載 ⑦ 求人情報のホームページへの掲載 ⑧ 「介護従事者の悩み相談」の対象者の拡充 ⑨ その他 ( ) ⑩ 特になし
問12	約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向 (1つに○)	① 武蔵野市で働き続けたい ② 武蔵野市外で働きたい	③ 介護・障害分野以外の仕事に変わりたい ④ 先のことは考えていない
問12-1	【問12で「①武蔵野市で働き続けたい」を選択した方のみ】 武蔵野市で働き続ける上で、特にモチベーションの向上につながっていること (最大3つまで○)	① 利用者・家族からの感謝 ② 事業所の理念や運営方針への共感 ③ キャリアのステップアップが見込めること ④ 市の担当職員との円滑なコミュニケーション ⑤ 在宅介護・地域包括支援センターの職員との円滑なコミュニケーション	⑥ ケアリンピックの開催等、市が仕事ぶりを評価してくれること ⑦ 市内の研修等が充実していること ⑧ 賃金等の処遇 ⑨ 職場の人間関係、雰囲気が良い ⑩ その他 ( )
問12-2	【問12で「③介護・障害分野以外の仕事に変わりたい」を選択した方のみ】 理由は何か (最大3つまで○)	① 賃金が低い ② 社会的評価が低いと感じる ③ 事業所の理念や運営方針に不満がある ④ キャリアアップの道筋が見えない	⑤ 慢性的な人材不足により業務負担が多い ⑥ 業務内容が体力的に辛い ⑦ 職場の人間関係に疲弊した ⑧ その他 ( )
問13	外国人介護職員の受け入れに対して、どのように考えていますか (最大3つまで○)	① 人材が不足している中では、積極的に受け入れていくべきである ② 言語の違いにより、うまくコミュニケーションが取れるかが不安 ③ 利用者やその家族が受け入れてくれるかが不安 ④ 職場の受け入れ環境(文化、宗教等)が整えられるかが不安 ⑤ よくわからない ⑥ その他 ( )	
問14	介護職員・看護職員等が武蔵野市で働き続けるために市に求めること (最大3つまで○)	① 教育・研修の拡大・充実 ② 多職種による情報交換の機会の拡大 ③ 事業者連絡会等の充実 ④ 相談窓口の充実	⑤ 人材確保のための施策の推進 ⑥ 市独自の福祉施策の推進 ⑦ 制度改正に関する国への働きかけ ⑧ その他 ( )
問15	コロナ禍がご自身の業務に与えている影響 (すべてに○)	① 勤務時間が減った ② 勤務時間が増えた ③ 利用者や家族の対応に関する負担が増えている ④ 他の職員が出勤できない等の理由で負担が増えている ⑤ 精神的なストレスが高まっている ⑥ 感染対策のためのコスト(費用、時間等)が負担になっている ⑦ その他 ( ) ⑧ 特になし	
問16	【「訪問介護員*」のみ対象】直近1週間の訪問サービスにおける提供時間の内訳を記入してください。 ※問3で訪問介護、訪問入浴、定期巡回、夜間対応型、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援を選択した方		

○下表太枠の中に、提供した時間(分)をご記入ください。

○移動時間、待機時間は含みません。

例えば、「生活援助」における「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間のみです。

○記入する時間は「5分単位」とします。(例)32分→30分、33分→35分と記入。

■介護保険

時間帯	身体介護	生活援助
早朝 6時～8時	分	分
日中 8時～18時	分	分
夜間 18時～22時	分	分
深夜 22時～6時	分	分

■障害福祉(重度訪問介護は除く)

時間帯	身体介護	生活援助
早朝 6時～8時	分	分
日中 8時～18時	分	分
夜間 18時～22時	分	分
深夜 22時～6時	分	分

■重度訪問介護

時間帯	身体介護	生活援助
早朝 6時～8時	分	分
日中 8時～18時	分	分
夜間 18時～22時	分	分
深夜 22時～6時	分	分

(注)身体介護には、自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)を含む。

# 武蔵野市介護施設等における入退所調査

※ 令和4年10月1日現在の状況について、ご回答ください。

※ 本調査では、以下のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

- ・ 特定施設入居者生活介護
- ・ 認知症対応型共同生活介護
- ・ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- ・ 介護老人保健施設
- ・ 住宅型有料老人ホーム
- ・ 軽費老人ホーム（特定施設除く）
- ・ サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）
- ・ 看護小規模多機能型居宅介護

問1 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

1) 定員数など	{ } [ 人・戸・室 ] ※該当する単位に○
2) 入所・入居者数	{ } 人
3) (貴施設等の) 待機者数	{ } 人
4) 特別養護老人ホームの待機者数(申込者数)	{ } 人 ※特別養護老人ホームは回答不要

※ 「1) 定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

※ 3)と4)は、該当者がいない場合は「0(ゼロ)」を、不明の場合は「-」を記入してください。

問2 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。(数値を記入)

※ 下記の合計人数と、問1で記入いただいた「2) 入所・入居者数」が一致することを確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
{ }人	{ }人	{ }人	{ }人	{ }人
要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	
{ }人	{ }人	{ }人	{ }人	

問3 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(数値を記入)

※ 該当者がいない場合は「0(ゼロ)」を記入してください。

1) 点滴の管理	{ } 人	8) 中心静脈栄養	{ } 人
2) 透析	{ } 人	9) ストーマの処置	{ } 人
3) 酸素療法	{ } 人	10) レスピレーター	{ } 人
4) 気管切開の処置	{ } 人	11) 疼痛の看護	{ } 人
5) 経管栄養	{ } 人	12) モニター測定	{ } 人
6) 褥瘡の処置	{ } 人	13) カテーテル	{ } 人
7) 喀痰吸引	{ } 人	14) インスリン注射	{ } 人

次ページ以降は、開設から2年以上経過した施設等が対象です。開設から2年未満の施設等は、ここまでで終了です。

ここからは、**過去2年間の新規の入所・入居者**についてお伺いします。

問4 過去2年間（令和2年10月1日～令和4年9月30日）に、新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

※ 貴施設等に入所・入居している人で、一時的な入院等で貴施設等に戻った人は含めないでください。

新規の入所・入居者数（合計）

[ ] 人 ★

問5 問4の過去2年間の新規の入所・入居者について、**入所・入居前の居場所別人数**をご記入ください。

※ 下記「15) 合計」(★欄)と、問4の「新規の入所・入居者数（合計）」(★欄)が一致することを確認ください。

※ 一旦入院し、退院後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所を記入ください。

	市内	市外
1) 自宅（※ 兄弟姉妹・子ども・親戚等の家含む）	[ ] 人	[ ] 人
2) 住宅型有料老人ホーム	[ ] 人	[ ] 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	[ ] 人	[ ] 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	[ ] 人	[ ] 人
5) グループホーム	[ ] 人	[ ] 人
6) 特定施設	[ ] 人	[ ] 人
7) 地域密着型特定施設	[ ] 人	[ ] 人
8) 介護老人保健施設	[ ] 人	[ ] 人
9) 看護小規模多機能型居宅介護	[ ] 人	[ ] 人
10) 療養型・介護医療院	[ ] 人	[ ] 人
11) 特別養護老人ホーム	[ ] 人	[ ] 人
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	[ ] 人	[ ] 人
13) その他	[ ] 人	[ ] 人
14) 入居・入所する前の居場所を把握していない	[ ] 人	
15) 合計	[ ] 人 ★	

ここからは、**過去2年間の退去者**についてお伺いします。

問6 過去2年間（令和2年10月1日～令和4年9月30日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

※ 一時的な入院等で貴施設等に戻った人、現在一時的に入院中の人（貴施設等との契約が継続している人）は含めないでください。

退去者数（合計）（※死亡・搬送先での死亡を含む）

〔 〕 人 ☆

問7 問6で記入いただいた過去2年間の退去者について、**要介護度別の人数**をご記入ください。

※ **死亡（搬送先での死亡を含む）**した人については、「死亡」欄にその人数を記入ください。

※ **下記の合計人数（☆欄）と、問6で記入いただいた「退去者数（合計）」（☆欄）が一致することを確認**ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
要介護4	要介護5	新規申請中	死亡	合計	
〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人 ☆	

問8 問6で記入いただいた過去2年間の退去者について、**退去先別の人数**をご記入ください。

※ **下記「17）合計」（☆欄）と問6で記入いただいた「退去者数（合計）」（☆欄）が一致することを確認**ください。

※ **一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所**をご記入ください。

	市内	市外
1) 自宅（※ 兄弟姉妹・子ども・親戚等の家含む）	〔 〕 人	〔 〕 人
2) 住宅型有料老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	〔 〕 人	〔 〕 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	〔 〕 人	〔 〕 人
5) グループホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
6) 特定施設	〔 〕 人	〔 〕 人
7) 地域密着型特定施設	〔 〕 人	〔 〕 人
8) 介護老人保健施設	〔 〕 人	〔 〕 人
9) 看護小規模多機能型居宅介護	〔 〕 人	〔 〕 人
10) 療養型・介護医療院	〔 〕 人	〔 〕 人
11) 「10」を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）	〔 〕 人	〔 〕 人
12) 特別養護老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
13) 地域密着型特別養護老人ホーム	〔 〕 人	〔 〕 人
14) その他	〔 〕 人	〔 〕 人
15) 行先を把握していない	〔 〕 人	
16) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）	〔 〕 人	
17) 合計	〔 〕 人 ☆	

問9 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで



選んで、該当する口に✓を付けてください。

	退去理由「上位3つ」に✓		
	第1位	第2位	第3位
1) <u>必要な生活支援</u> が発生・増大したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) <u>必要な身体介護</u> が発生・増大したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3) <u>認知症の症状</u> が悪化したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4) <u>医療的ケア・医療処置の必要性</u> が高まったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6) 入所・入居者の <u>状態等</u> が改善したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7) 入所・入居者が、 <u>必要な居宅サービスの利用を望まなかった</u> から	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8) <u>費用負担</u> が重くなったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9) その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



## **武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査**

## **武蔵野市介護施設等における入退所調査**

(武蔵野市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画、  
武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画策定に係る調査)

### **報告書**

発行年月：令和5年3月

発行・編集

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課

〒180-8777

武蔵野市 緑町2-2-28

Tel 0422-60-1925 (直通)